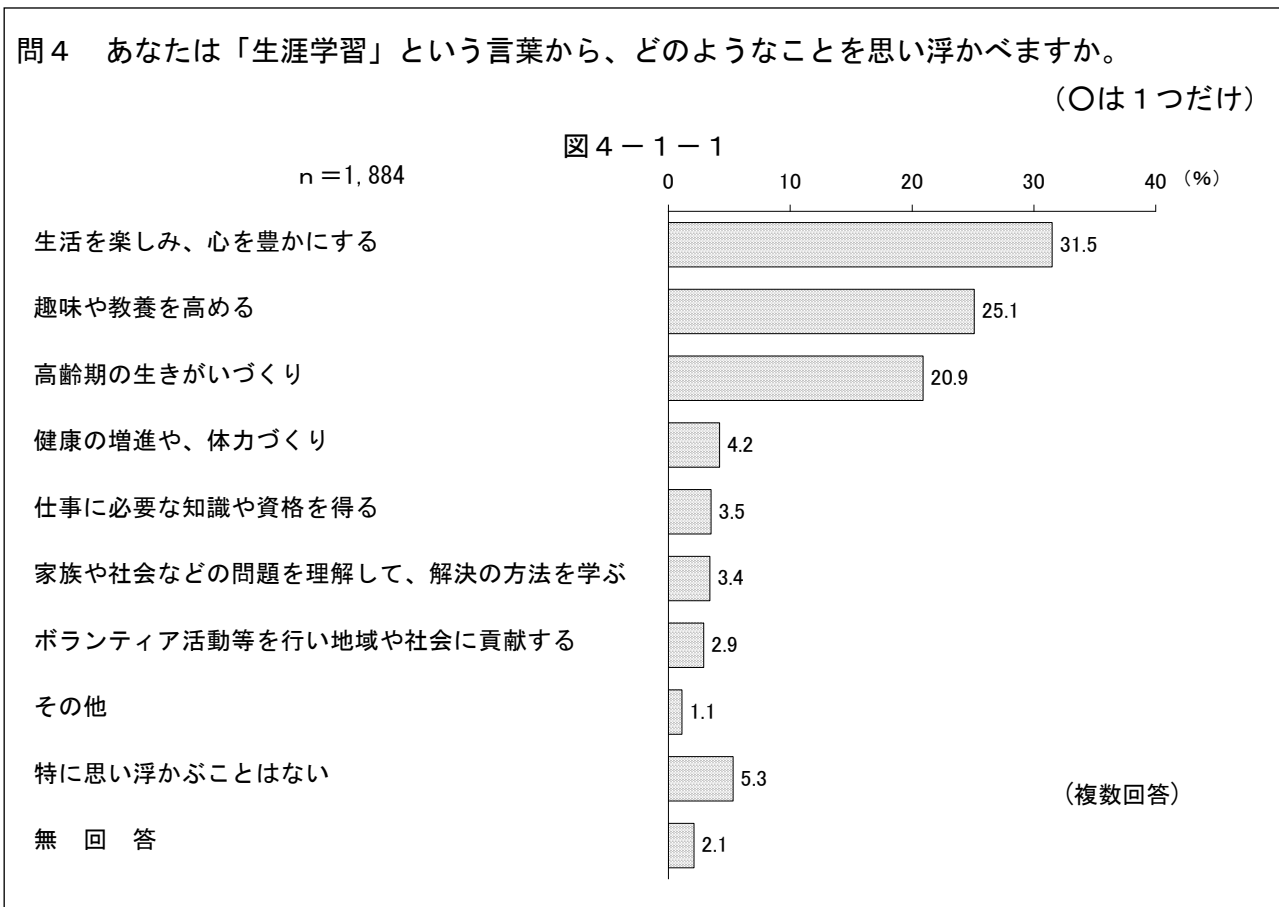


4. 生涯学習について

4-1 生涯学習のイメージ

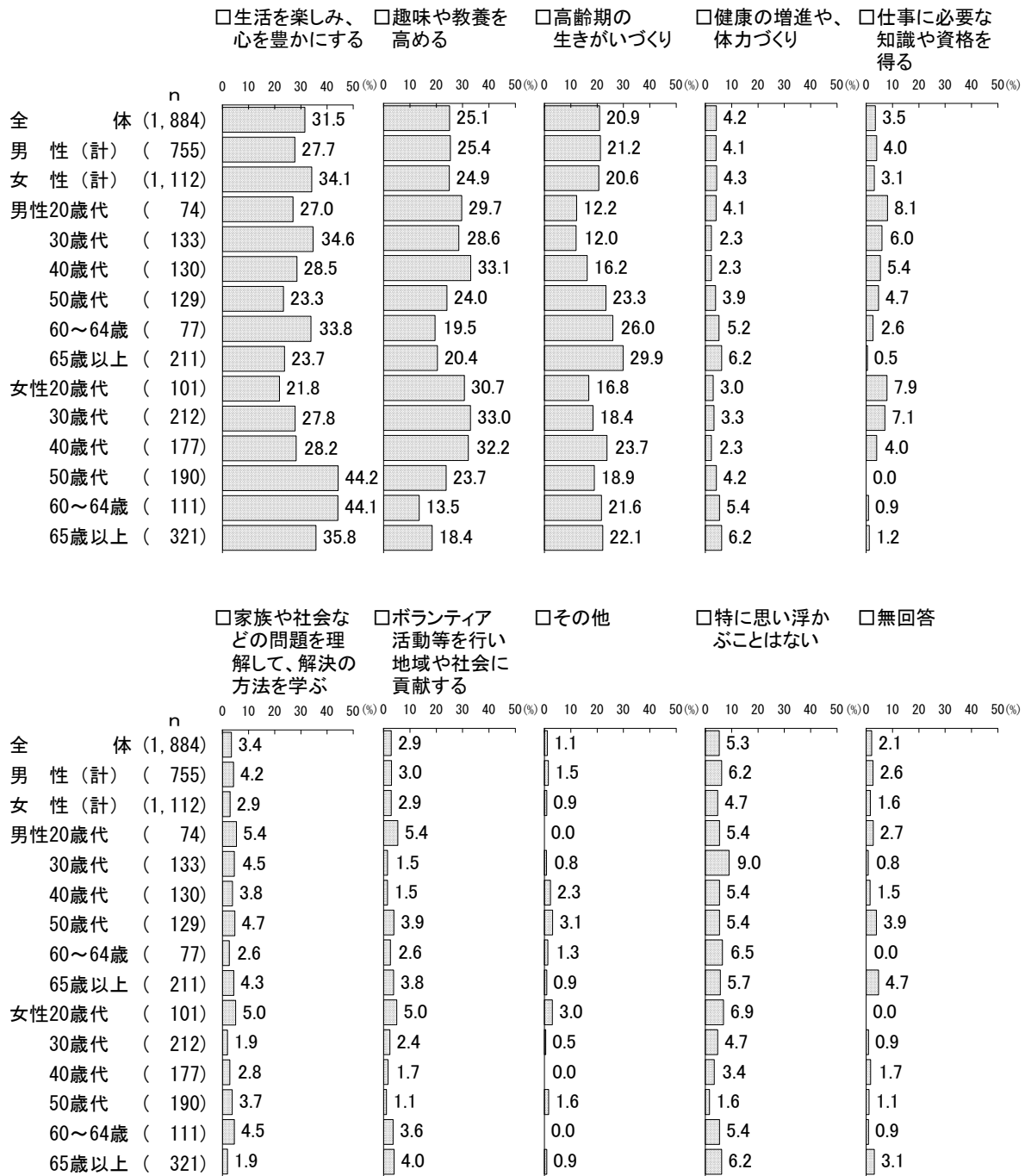
◇「生活を楽しみ、心を豊かにする」が3割強



生涯学習のイメージを聞いたところ、「生活を楽しみ、心を豊かにする」が3割強（31.5%）と最も高く、ついで「趣味や教養を高める」（25.1%）、「高齢期の生きがいをづくり」（20.9%）と続いている。

(図4-1-1)

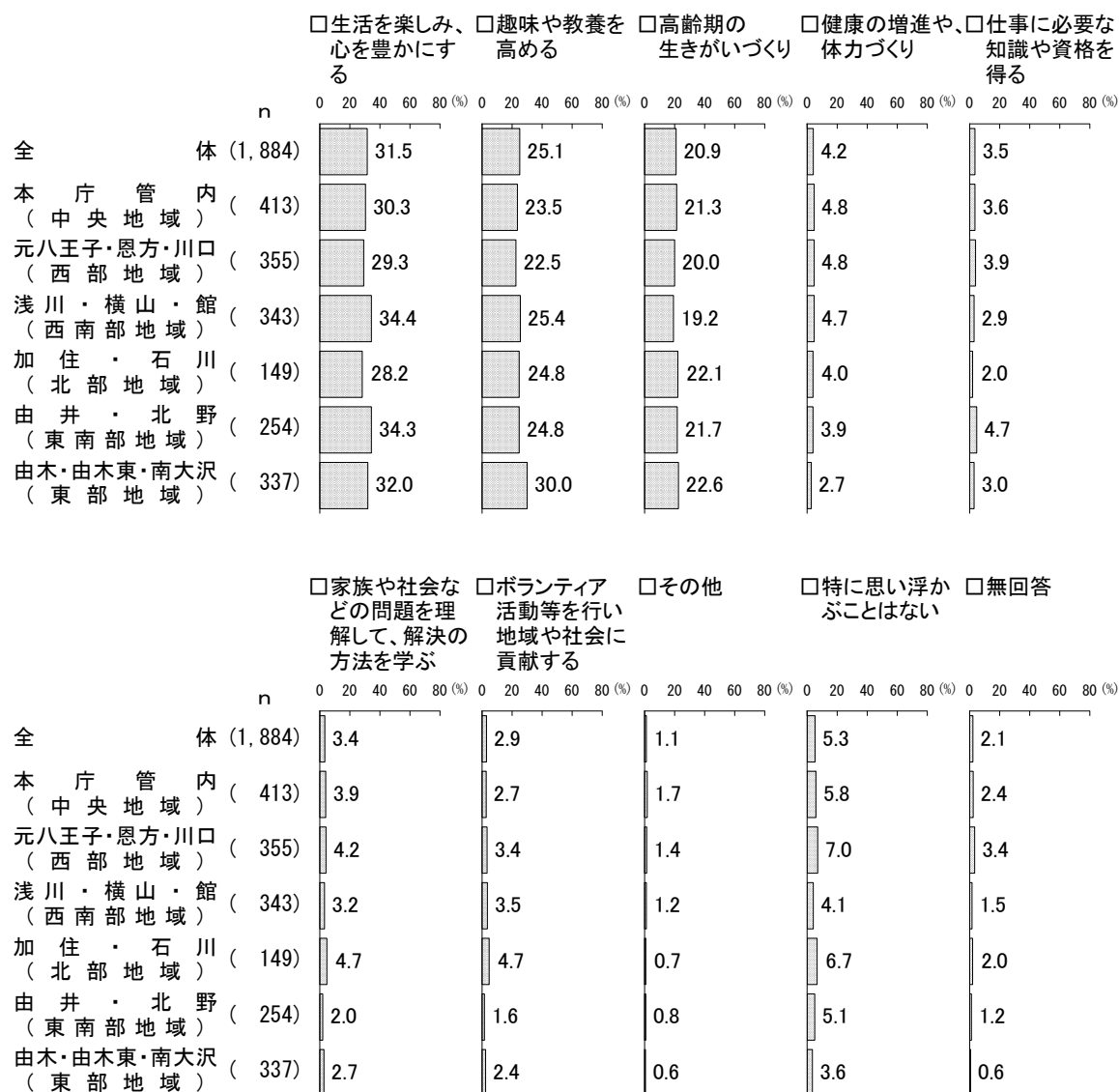
図4-1-2 生涯学習のイメージ性別・年齢別



性別にみると、女性は「生活を楽しむ、心を豊かにする」が男性よりも6.4ポイント高い。

性・年齢別にみると、「生活を楽しむ、心を豊かにする」は女性の50歳代と60~64歳で4割以上を占め、特に高くなっている。「高齢者の生きがいがづくり」では、概ね年齢が高くなるほど割合も高くなる傾向にあり、男性の65歳以上で約3割(29.9%)と最も高くなっている。(図4-1-2)

図 4-1-3 生涯学習のイメージ-居住地域別



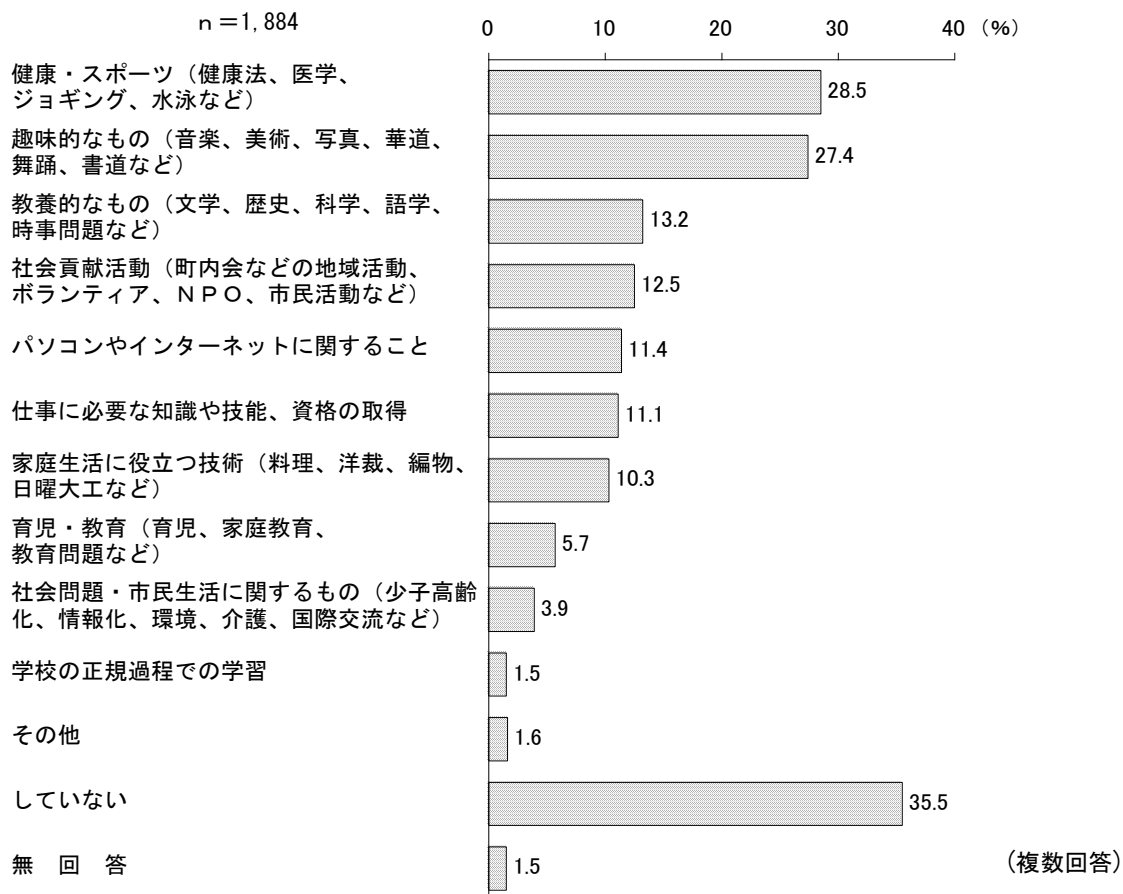
居住地域別にみると、「生活を楽しむ、心を豊かにする」は浅川・横山・館（西南部地域）、由井・北野（東南部地域）で3割台半ばと比較的高くなっている。また、「趣味や教養を高める」は由木・由木東・南大沢（東部地域）が3割（30.0%）と最も高くなっている。（図4-1-3）

4-2 この1年間の生涯学習活動の実施状況

◇「健康・スポーツ」と「趣味的なもの」が3割弱

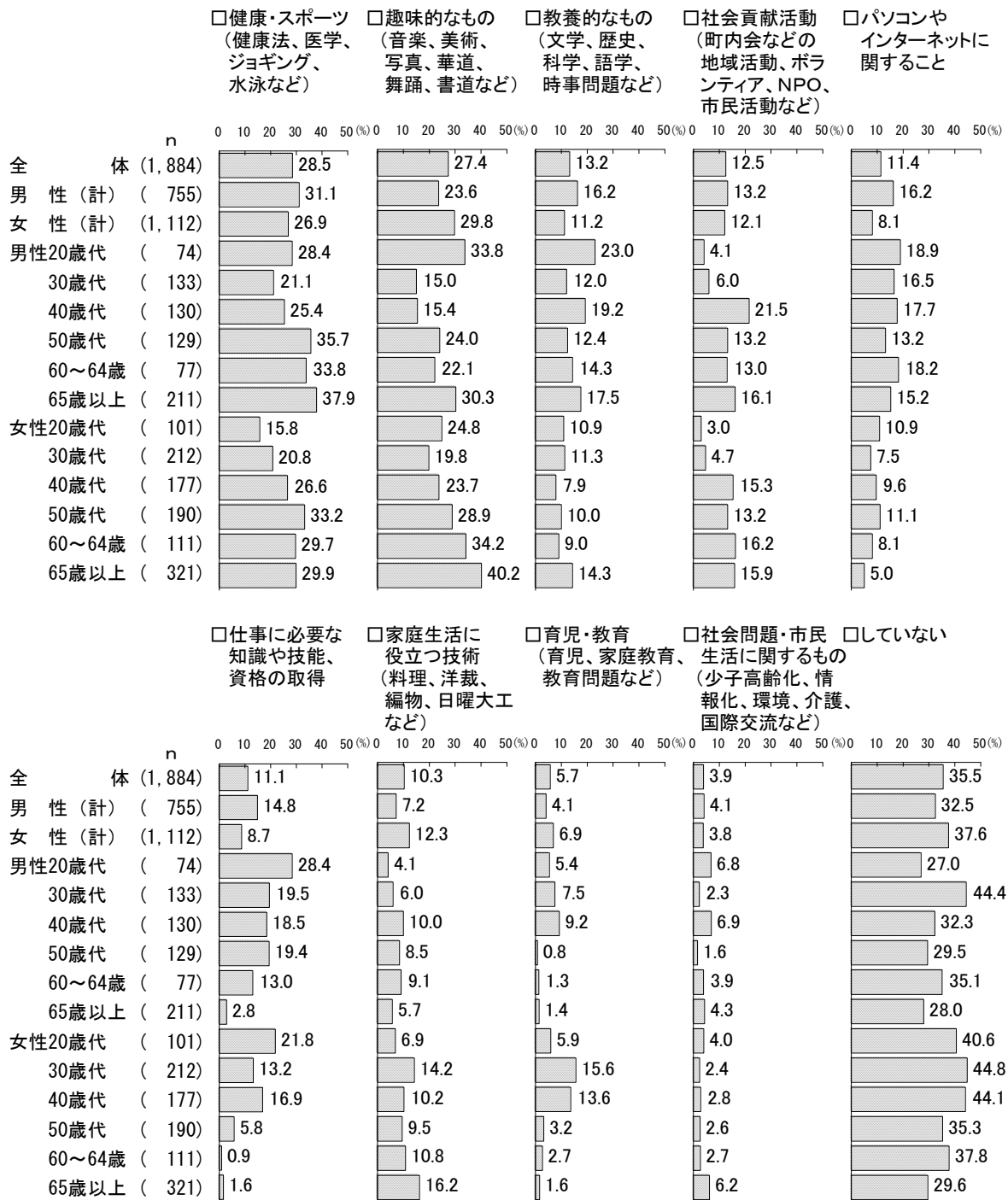
問5 あなたは過去1年の間に、次のうちどのような生涯学習活動に取り組んで（学んだり、活動したりして）いますか。（〇はいくつでも）

図4-2-1



この1年間にどのような生涯学習活動に取り組んだか聞いたところ、「健康・スポーツ（健康法、医学、ジョギング、水泳など）」(28.5%)と「趣味的なもの（音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など）」(27.4%)が3割弱と、特に高くなっている。一方、「していない」(35.5%)は3割台半ばを占めている。(図4-2-1)

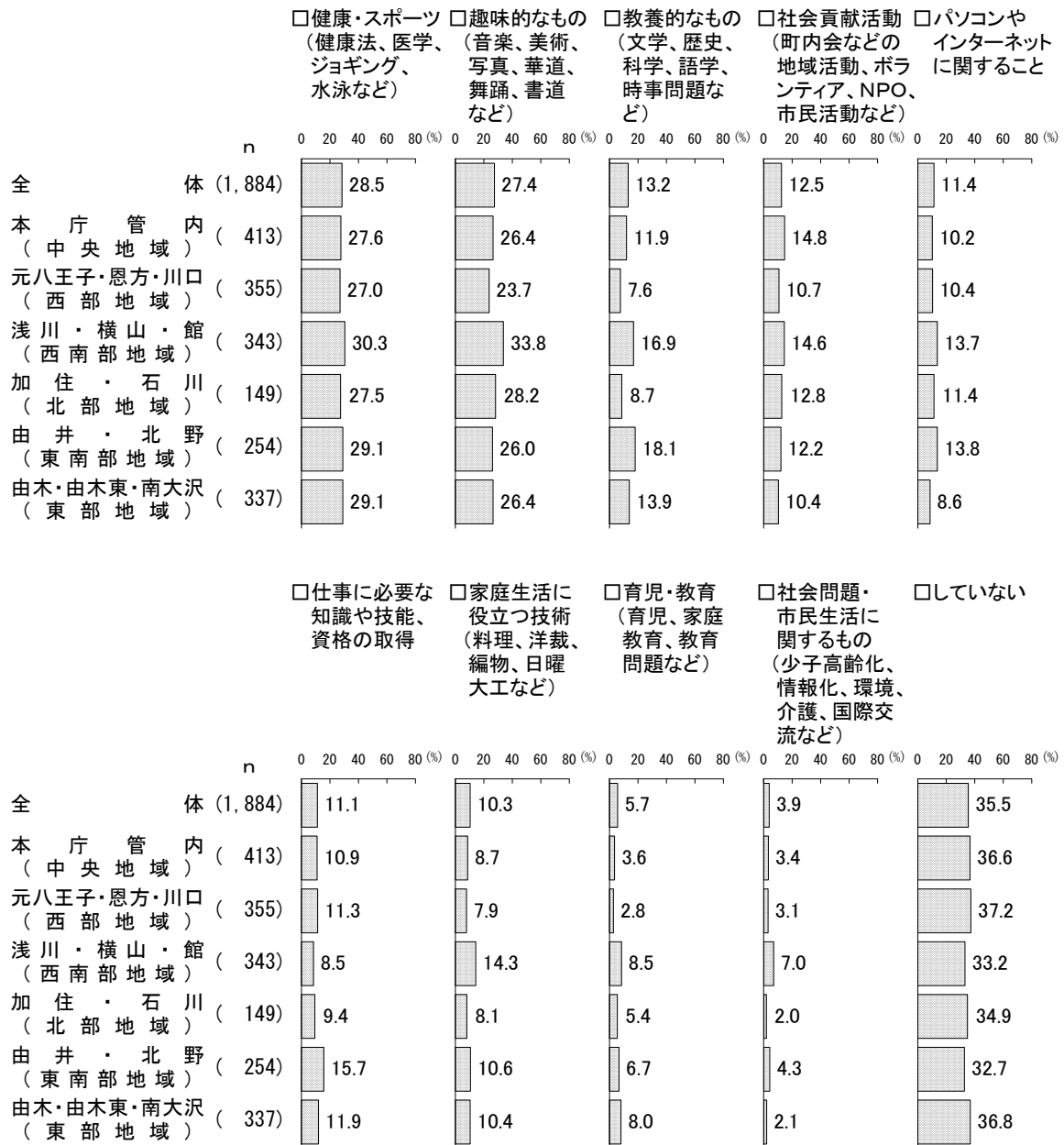
図4-2-2 この1年間の生涯学習の実施状況—性別・年齢別（上位10項目）



性別にみると、「パソコンやインターネットに関すること」は男性のほうが8.1ポイント高く、「趣味的なもの（音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など）」は女性のほうが6.2ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「健康・スポーツ（健康法、医学、ジョギング、水泳など）」は男性の50歳代以上と女性の50歳代で3割以上と高くなっており、「趣味的なもの（音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など）」では、女性の65歳以上で約4割（40.2%）となっている。（図4-2-2）

図4-2-3 この1年間の生涯学習の実施状況—居住地域別（上位10項目）



居住地域別にみると、浅川・横山・館（西南部地域）では「趣味的なもの（音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など）」（33.8%）と「健康・スポーツ（健康法、医学、ジョギング、水泳など）」（30.3%）が3割以上と他の地域と比較して高い割合となっている。（図4-2-3）

4-3 生涯学習活動をしていない理由

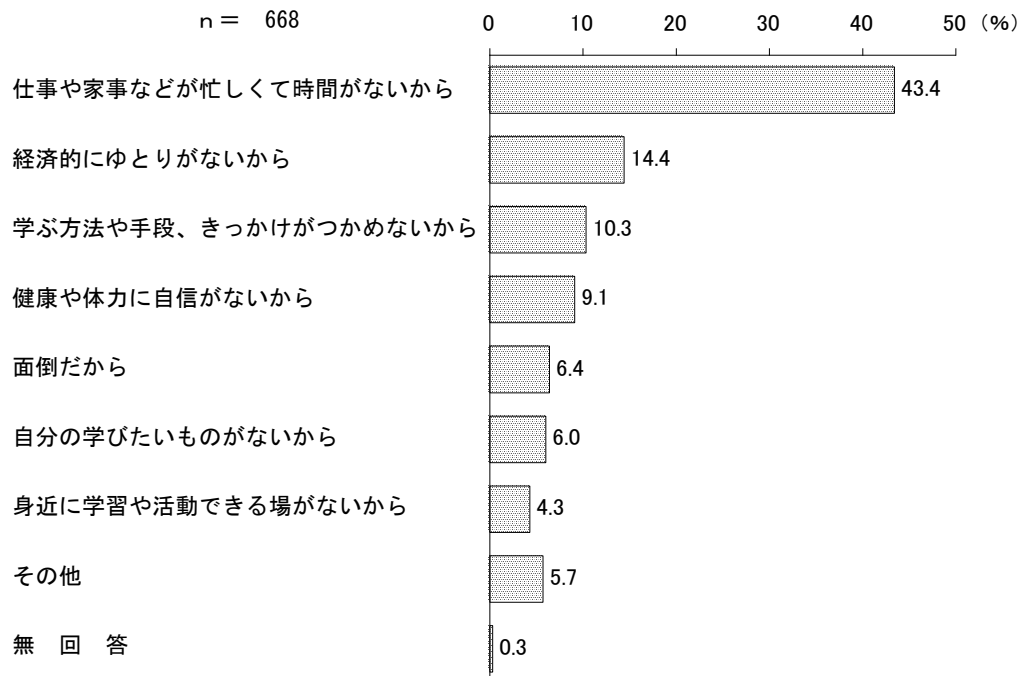
◇「仕事や家事などが忙しくて時間がないから」が4割強と突出

(問5で「していない」とお答えの方に)

問5-1 あなたが学んだり、活動したりしていない(できない)主な理由は何ですか。

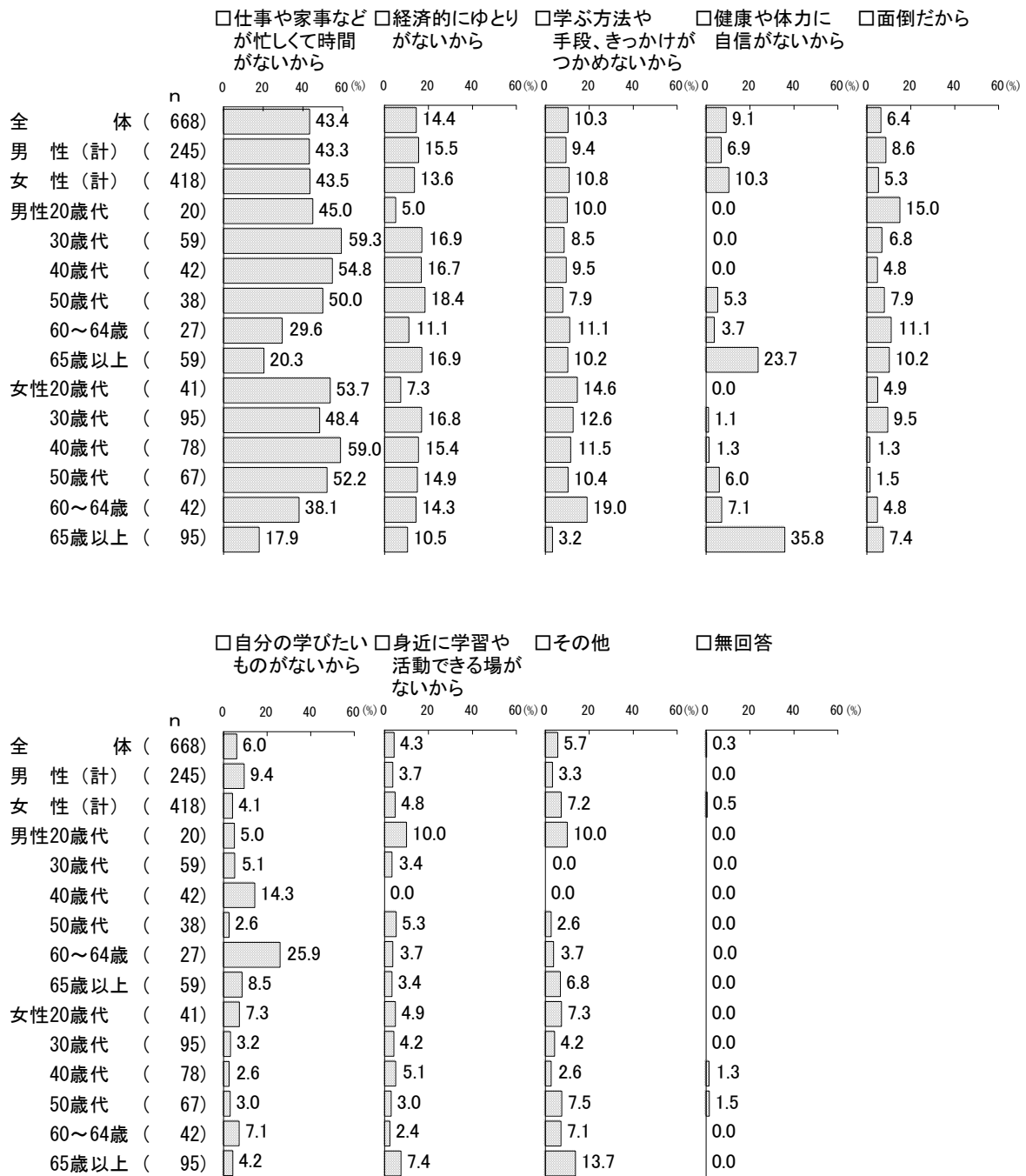
(○は1つだけ)

図4-3-1



この1年間で取り組んだ生涯学習活動で「していない」と答えた人(668人)に、生涯学習活動をしていない理由を聞いたところ、「仕事や家事などが忙しくて時間がないから」が4割強(43.4%)と最も高く、ついで「経済的にゆとりがないから」(14.4%)、「学ぶ方法や手段、きっかけがつかめないから」(10.3%)の順で続いている。(図4-3-1)

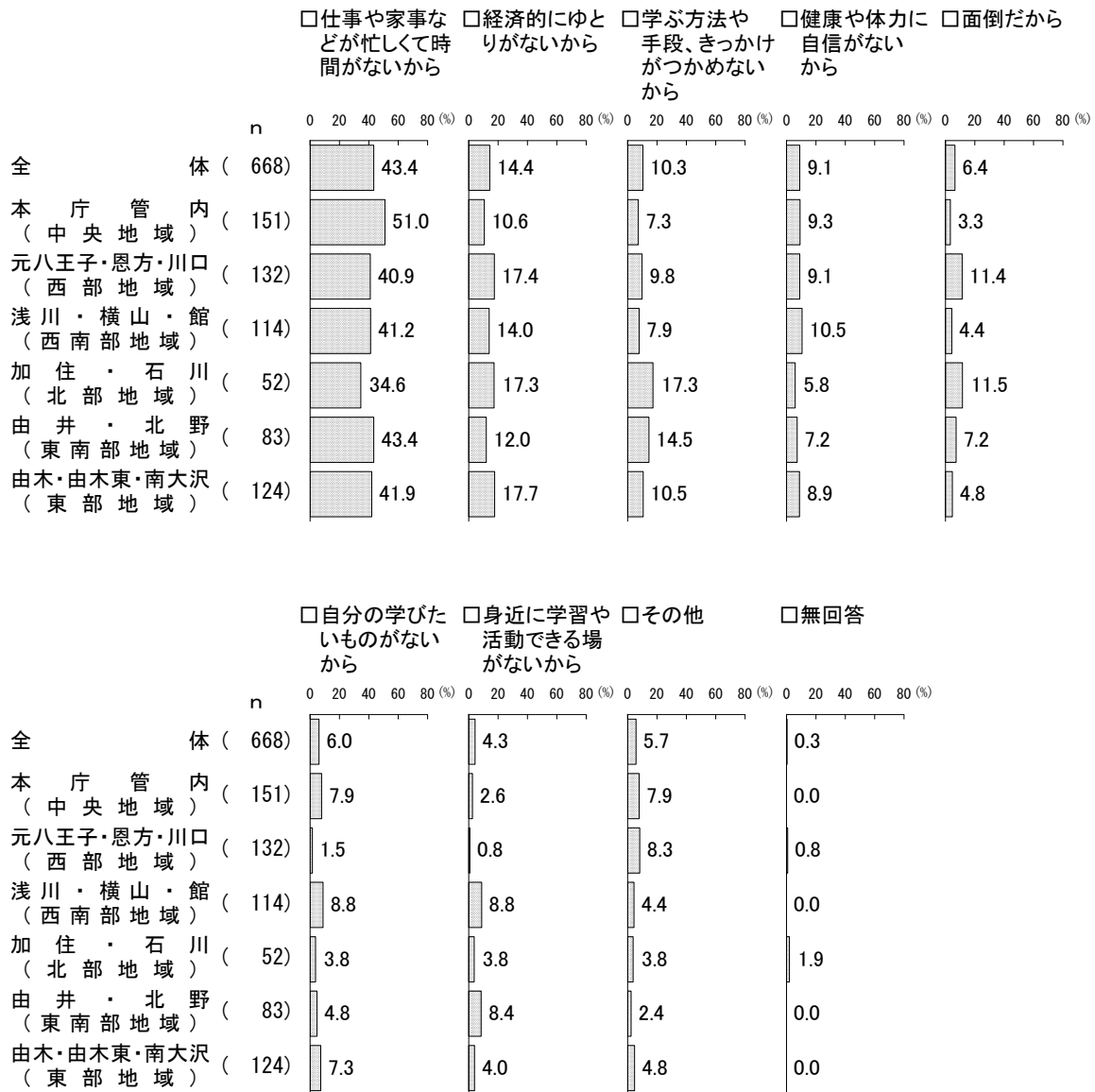
図4-3-2 生涯学習活動をしていない理由—性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「自分の学びたいものがないから」が5.3ポイント高く、女性のほうが「健康や体力に自信がないから」が3.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、男性の30歳と女性の40歳は「仕事や家事などが忙しくて時間がないから」が6割弱と特に高くなっている。また、男女とも65歳以上では「健康や体力に自信がないから」が最も高くなっている。(図4-3-2)

図4-3-3 生涯学習活動をしていない理由—居住地域別



居住地域別にみると、いずれの地域でも「仕事や家事などが忙しくて時間がないから」が最も高い割合となっており、本庁管内（中央地域）は5割強（51.0%）で特に高くなっている。

(図4-3-3)

4-4 生涯学習活動の情報を知った方法

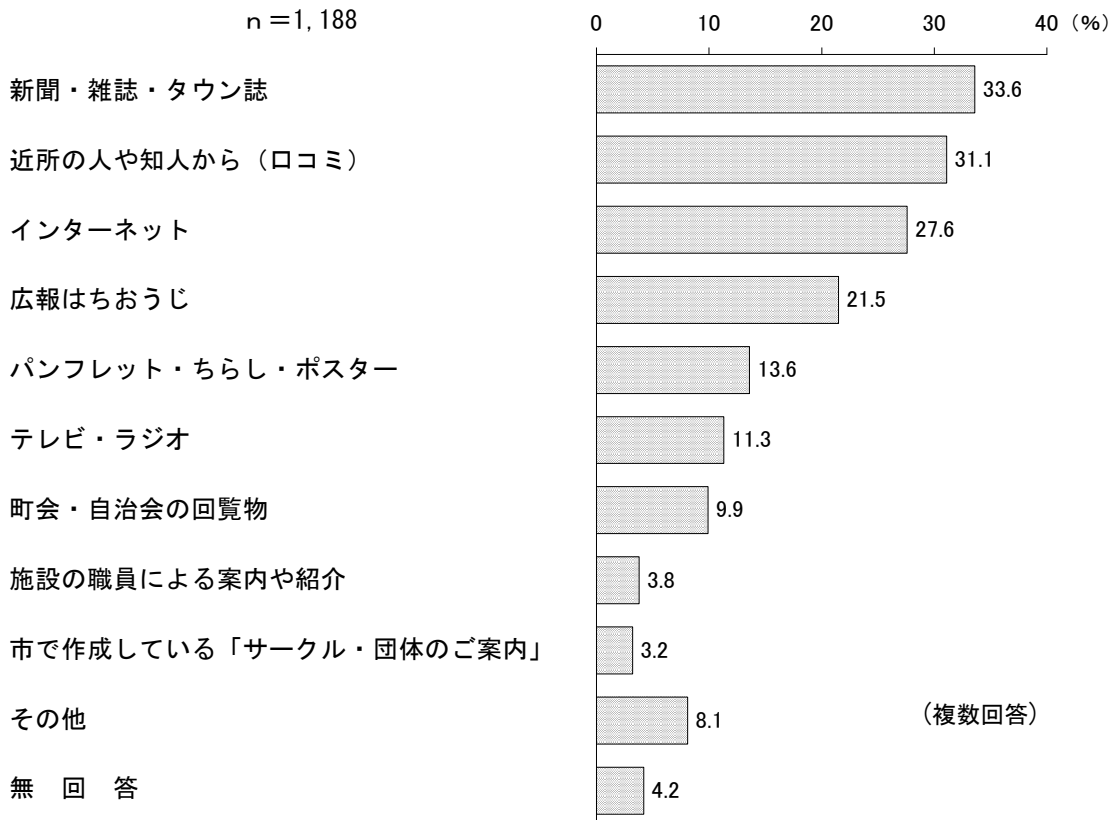
◇「新聞・雑誌・タウン誌」と「近所の人や知人から（口コミ）」が3割強

(問5で「1」～「11」のいずれかにお答えの方に)

問5-2 あなたが行っている学習や活動に関する情報を何でお知りになりましたか。

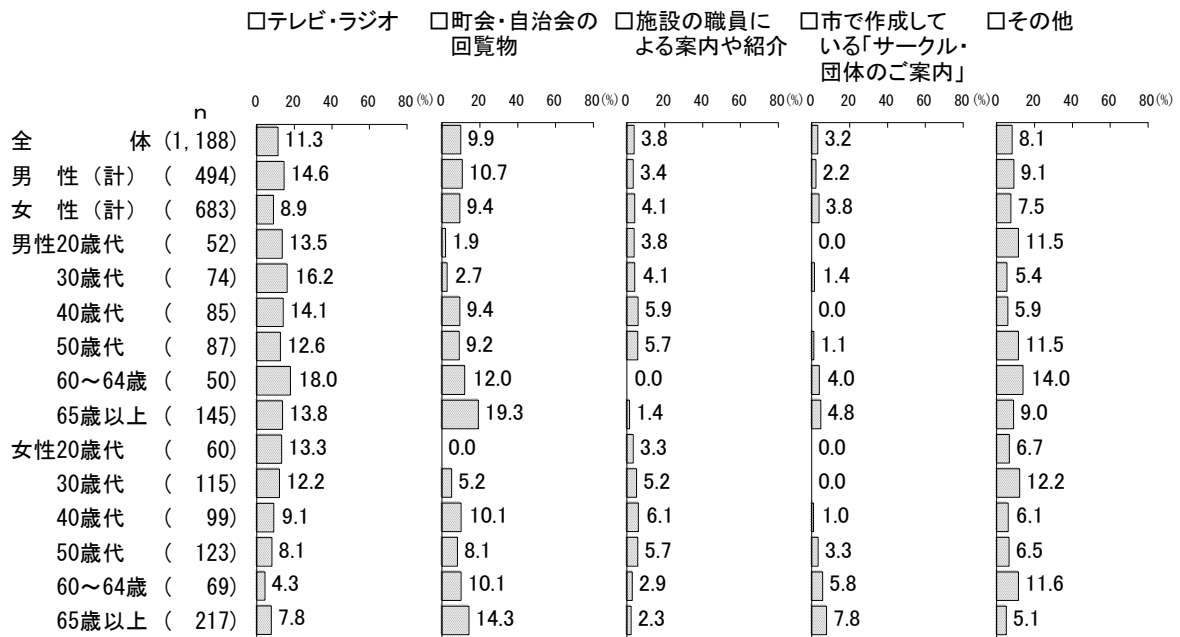
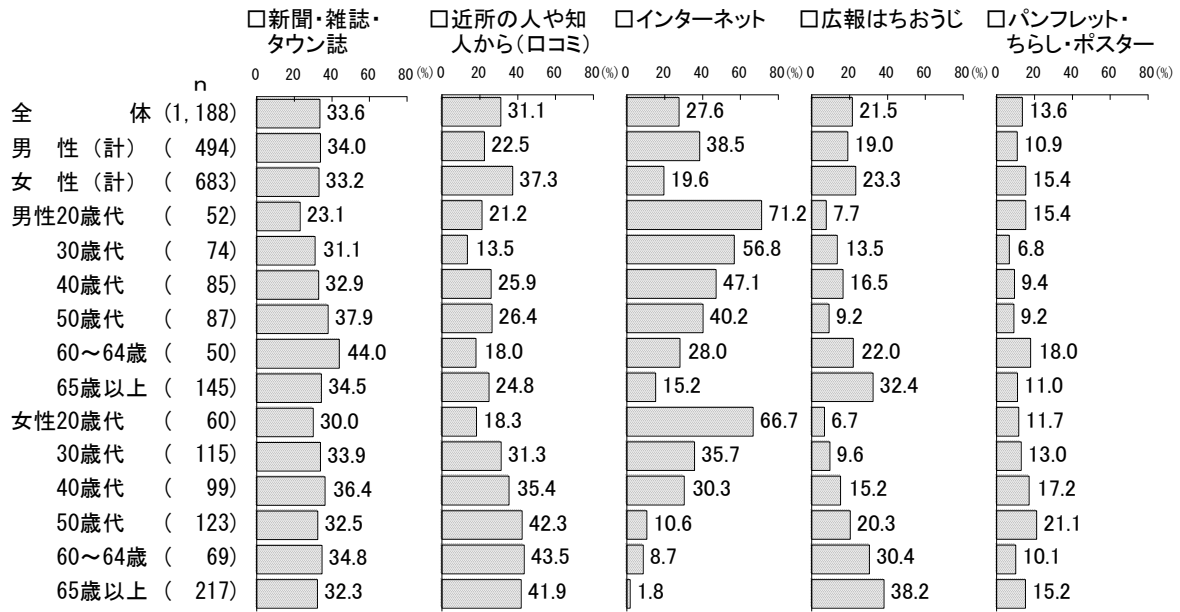
(〇は3つまで)

図4-4-1



この1年間で、生涯学習活動に取り組んでいると答えた人（1,188人）に生涯学習活動の情報を知った方法について聞いてみたところ、「新聞・雑誌・タウン誌」（33.6%）と「近所の人や知人から（口コミ）」（31.1%）が3割強と最も高く、ついで「インターネット」（27.6%）と「広報はちおうじ」（21.5%）が続いている。（図4-4-1）

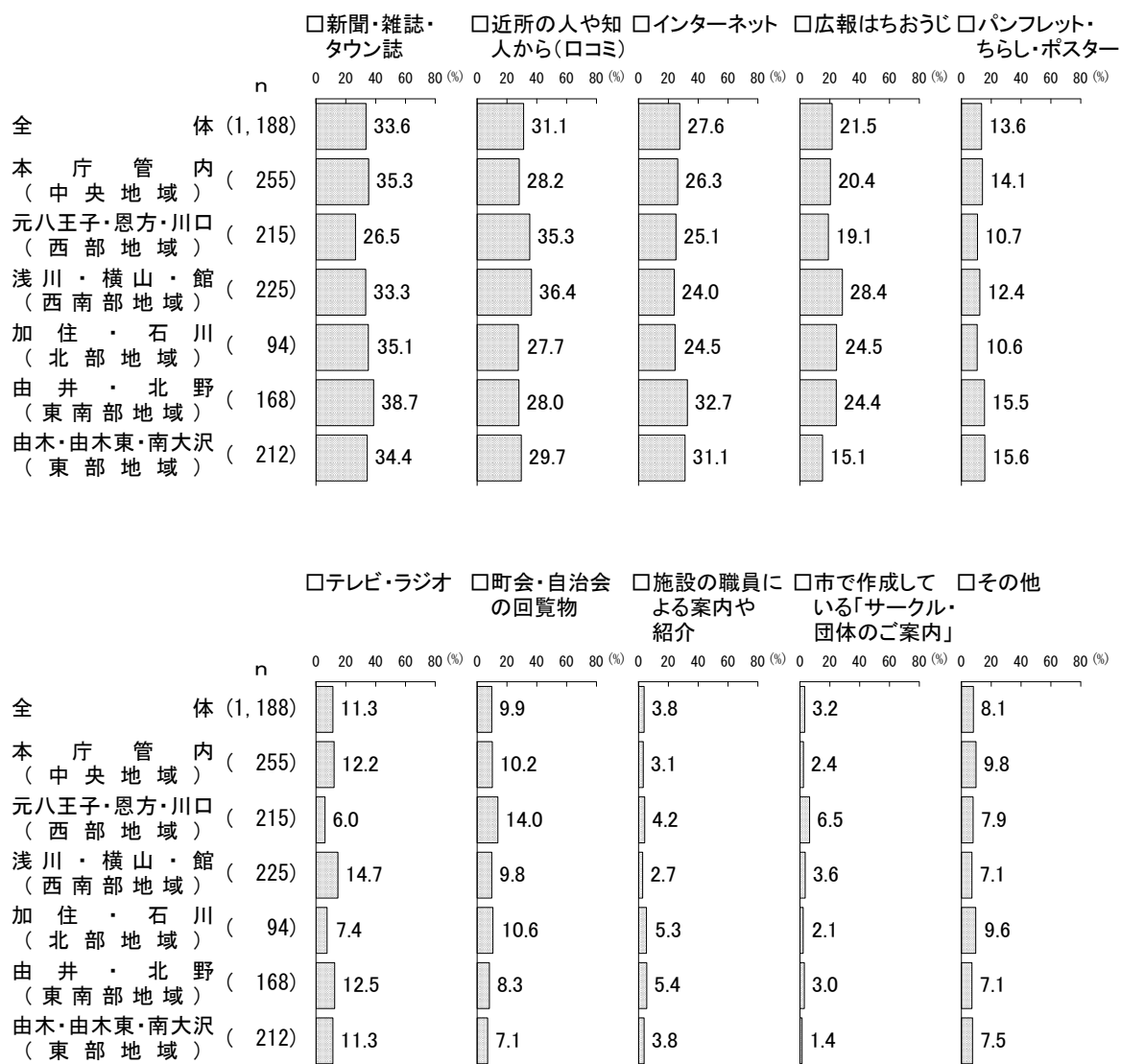
図4-4-2 生涯学習活動の情報を知った方法—性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「インターネット」が18.9ポイント高く、女性のほうが「近所の人や知人から(口コミ)」が14.8ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「インターネット」は年齢が低くなるほど割合が高くなり、男女とも20歳代で7割前後と突出して高くなっている。(図4-4-2)

図4-4-3 生涯学習活動の情報を知った方法—居住地域別



居住地域別にみると、浅川・横山・館（西南部地域）と元八王子・恩方・川口（西部地域）では「近所の人や知人から（口コミ）」が3割台半ばで最も高い割合となっているのに対し、それ以外の地域では「新聞・雑誌・タウン誌」が最も高くなっている。（図4-4-3）

4-5 生涯学習活動に参加する手段

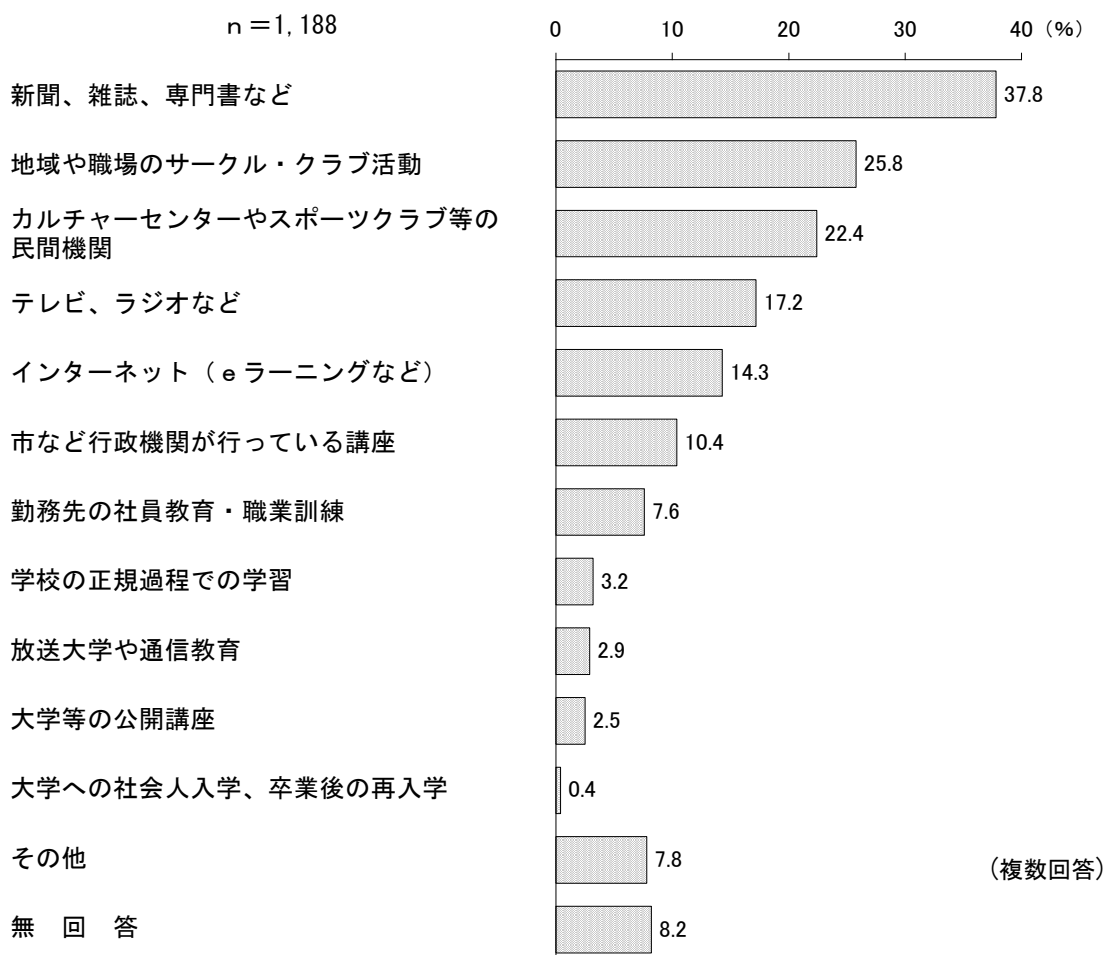
◇「新聞、雑誌、専門書など」が4割弱

(問5で「1」～「11」のいずれかにお答えの方に)

問5-3 あなたは、どのような方法で、学んだり、活動したりしていますか。

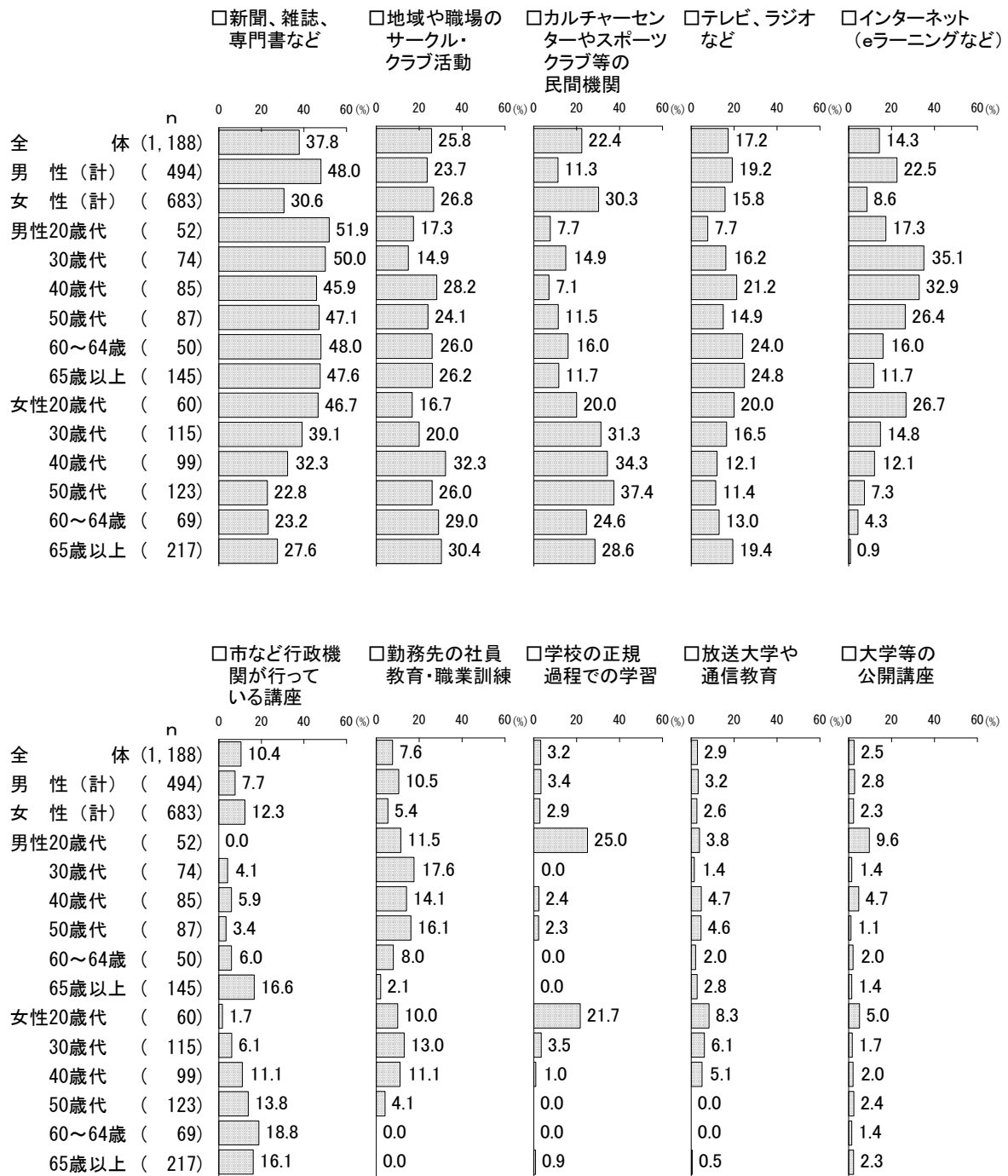
(○はいくつでも)

図4-5-1



この1年間で、生涯学習活動に取り組んでいると答えた人（1,188人）に、生涯学習活動に参加する手段について聞いたところ、「新聞、雑誌、専門書など」が4割弱（37.8%）と最も高く、ついで「地域や職場のサークル・クラブ活動」（25.8%）、「カルチャーセンターやスポーツクラブ等の民間機関」（22.4%）と続いている。（図4-5-1）

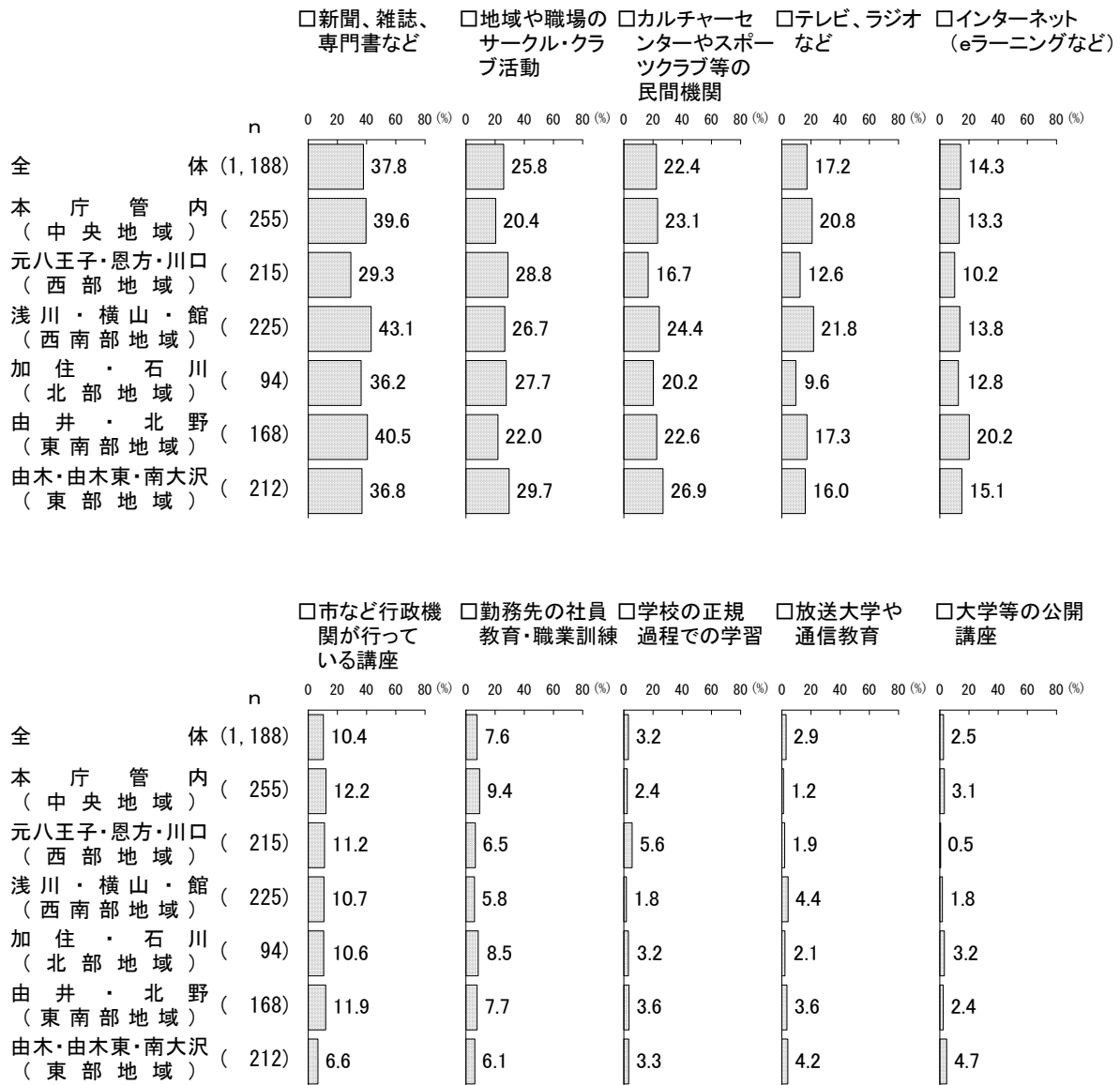
図4-5-2 生涯学習活動に参加する手段－性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「新聞、雑誌、専門書など」で17.4ポイント、「インターネット（eラーニングなど）」では13.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、男性のすべての年齢層と女性の20歳代では「新聞、雑誌、専門書など」が4割以上となっており、特に男性の20歳代・30歳代は半数以上と高くなっている。また、女性の30歳代～50歳代で「カルチャーセンターやスポーツクラブ等の民間機関」が3割以上と他の年齢層より高くなっている。(図4-5-2)

図4-5-3 生涯学習活動に参加する手段－居住地域別



居住地域別にみると、「地域や職場のサークル・クラブ活動」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で約3割（29.7%）、「インターネット（eラーニングなど）」は由井・北野（東南部地域）で約2割（20.2%）と他の地域より高くなっている。（図4-5-3）

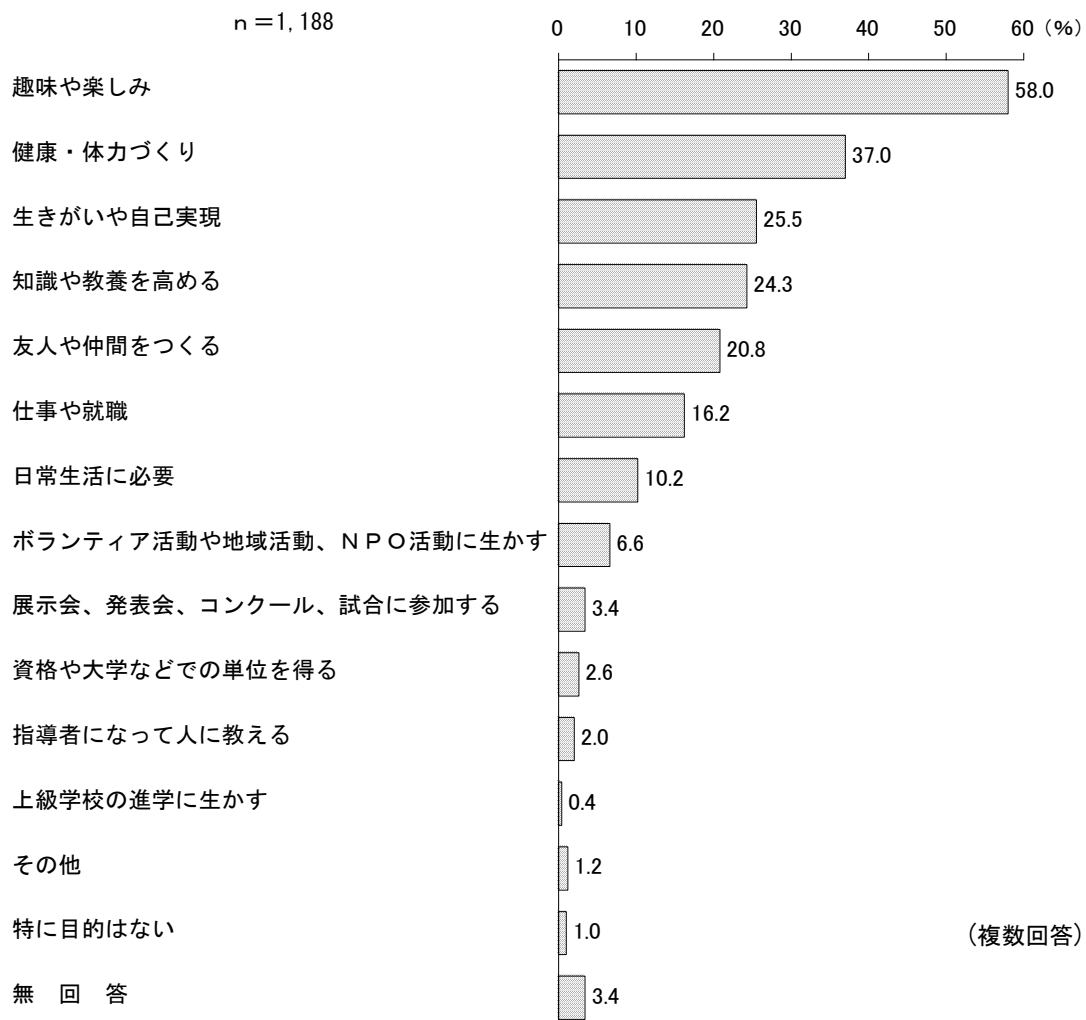
4-6 生涯学習活動に参加する目的

◇「趣味や楽しみ」が6割弱

(問5で「1」～「11」のいずれかにお答えの方に)

問5-4 あなたは、どのような目的で、学んだり、活動したりしていますか。(○は3つまで)

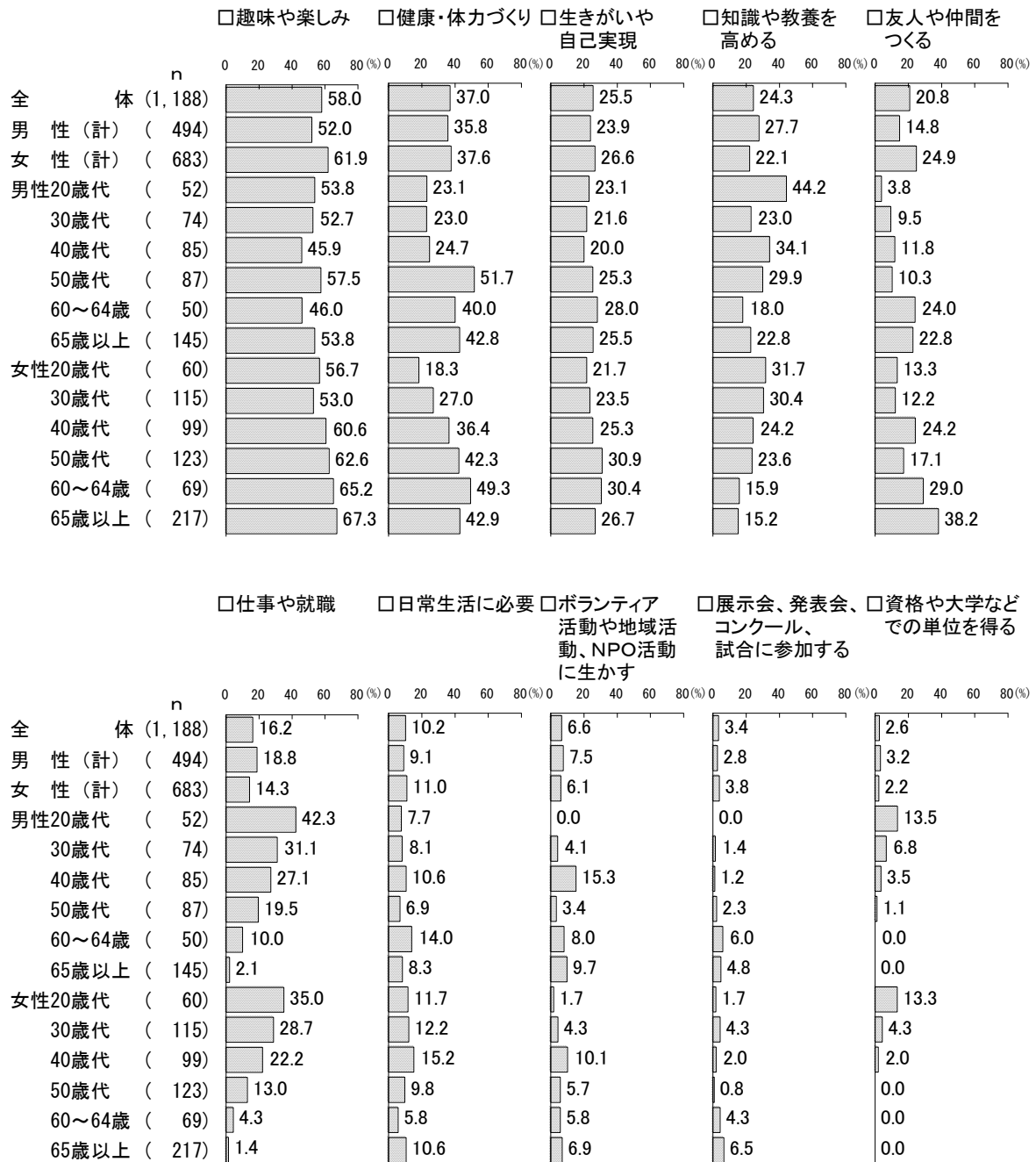
図4-6-1



この1年間で、生涯学習活動に取り組んでいると答えた人(1,188人)に、生涯学習活動に参加する目的について聞いたところ、「趣味や楽しみ」が6割弱(58.0%)と最も高く、ついで「健康・体力づくり」(37.0%)、「生きがいや自己実現」(25.5%)、「知識や教養を高める」(24.3%)と続いている。

(図4-6-1)

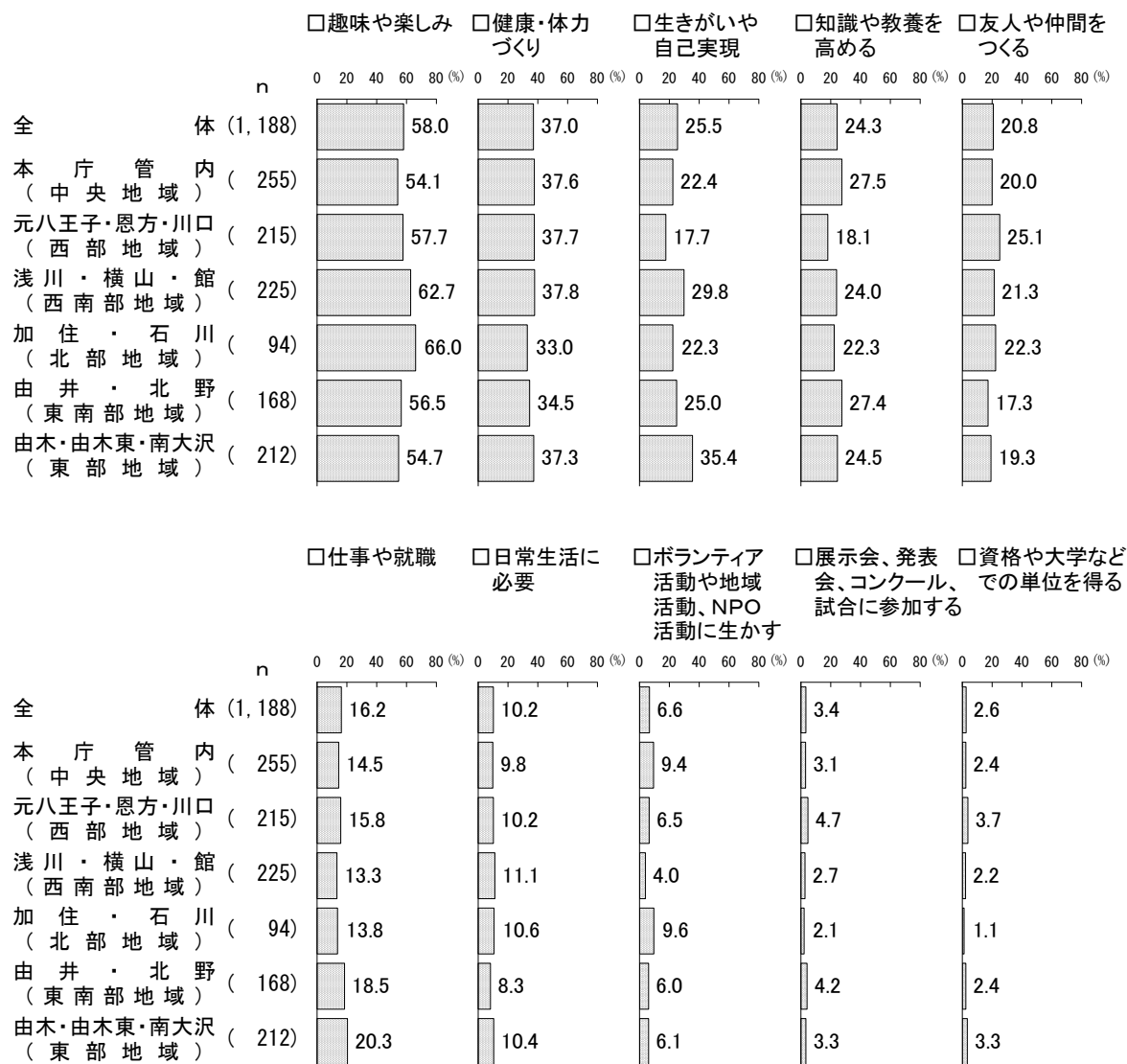
図4-6-2 生涯学習活動に参加する目的—性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが、「友人や仲間をつくる」で10.1ポイント、「趣味や楽しみ」で9.9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「健康・体力づくり」は男女とも50歳代以上で4割以上と高く、男性の50歳代では、半数を超えて特に高くなっている。(図4-6-2)

図4-6-3 生涯学習活動に参加する目的—居住地域別



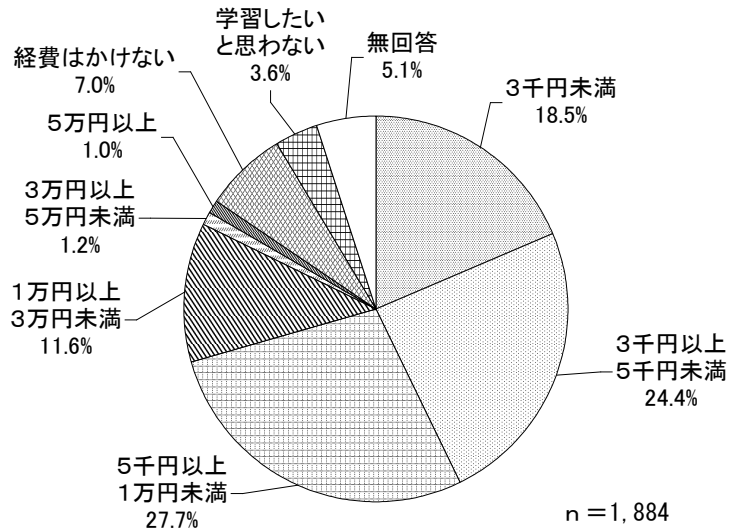
居住地域別にみると、「趣味や楽しみ」は加住・石川（北部地域）と浅川・横山・館（西南部地域）で6割以上、「生きがいや自己実現」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で3割台半ば（35.4%）と高くなっている。（図4-6-3）

4-7 生涯学習活動に支出できる費用

◇『1万円未満』が約7割

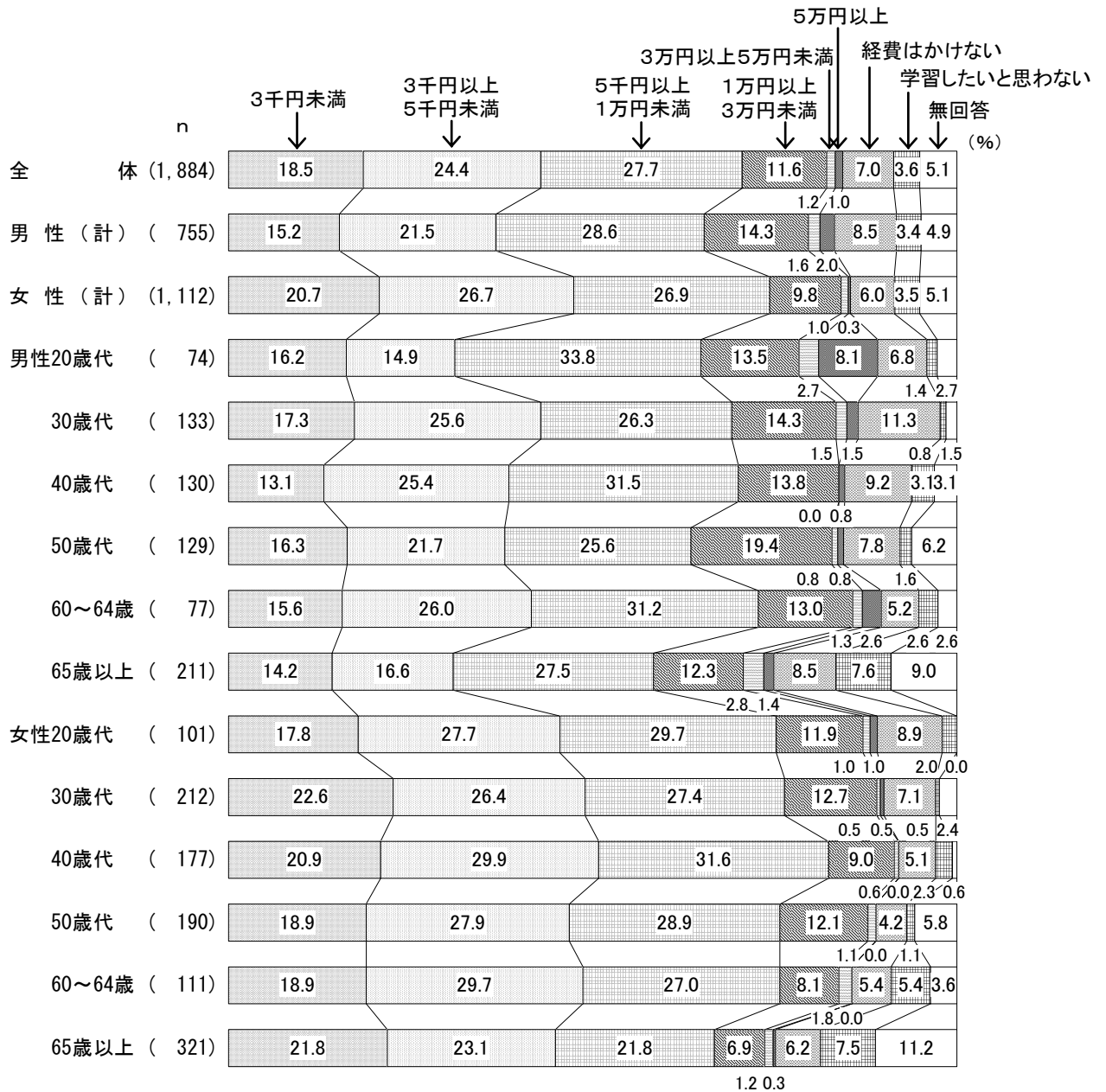
問6 あなたが学習活動に支出している経費、または、これから学習したいと考えたときに支出してもよいと考える金額は、1ヶ月いくらくらいですか。(○は1つだけ)

図4-7-1



生涯学習活動に支出できる費用について聞いたところ、「5千円以上1万円未満」が3割弱(27.7%)と最も高く、ついで「3千円以上5千円未満」(24.4%)、「3千円未満」(18.5%)と続き、3項目を合わせた『1万円未満』(70.6%)は約7割となっている。(図4-7-1)

図4-7-2 生涯学習活動に支出できる費用—性別・年齢別

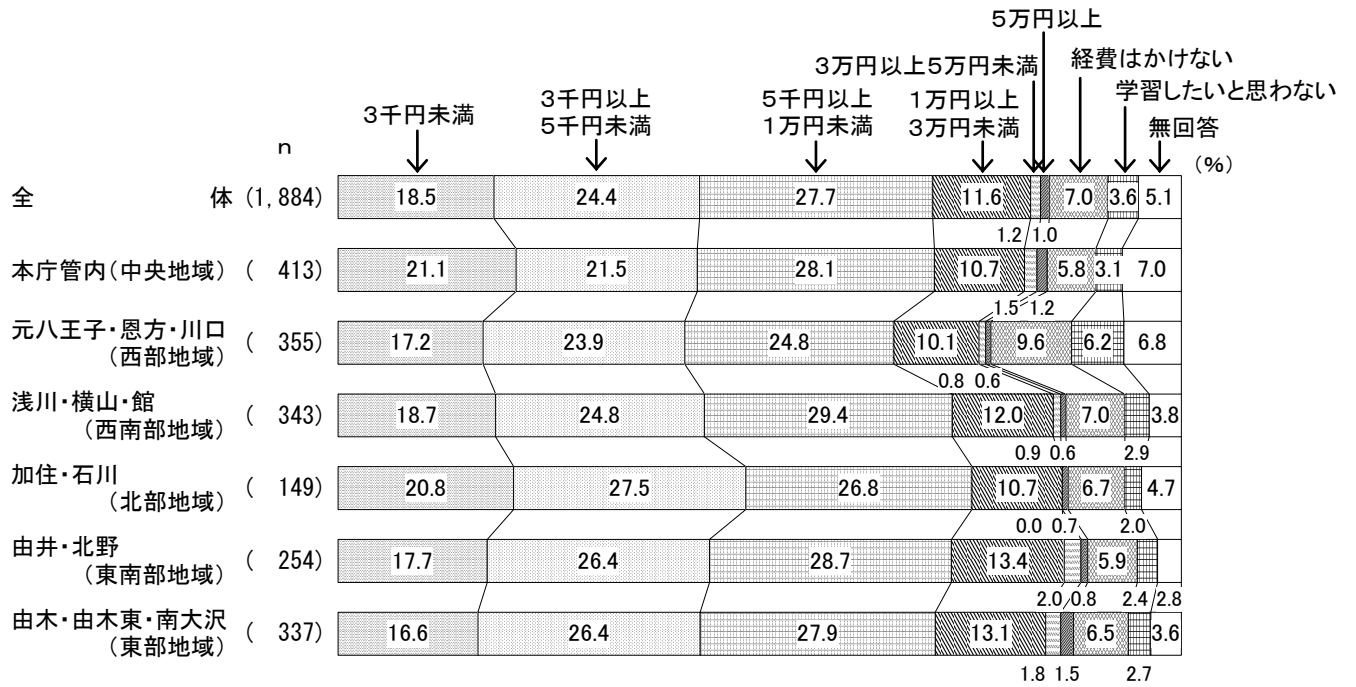


性別にみると、女性は「3千円未満」が5.5ポイント、「3千円以上5千円未満」が5.2ポイント男性よりも高く、男性は「1万円以上3万円未満」が4.5ポイント女性より高くなっている。

性・年齢別にみると、すべての年齢において『1万円未満』が半数以上を占めており、なかでも女性の40歳代は8割強（82.4%）で最も高く、男性の65歳以上は6割弱（58.3%）と最も低くなっている。

(図4-7-2)

図4-7-3 生涯学習活動に支出できる費用—居住地域別



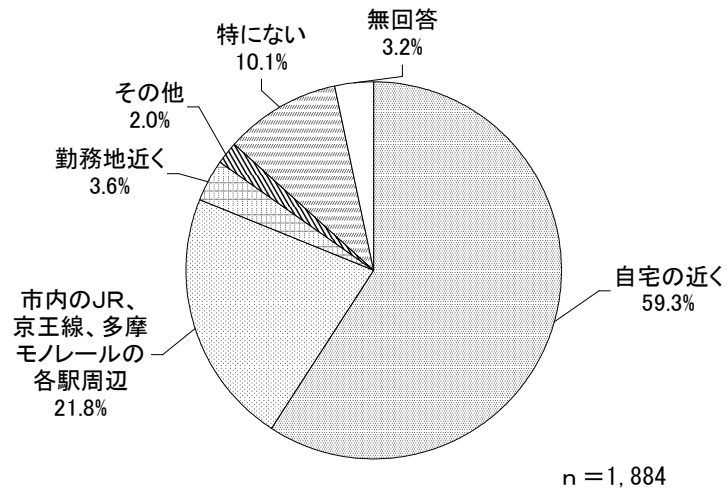
居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）をのぞいたすべての地域で『1万円未満』が7割以上を占めている。（図4-7-3）

4-8 生涯学習活動に参加できる場所

◇「自宅の近く」が6割弱

問7 あなたが学習を続けていくために、または、これから学習したいと考えたときに、学習活動の場がどの場所であればよいと思いますか。(○は1つだけ)

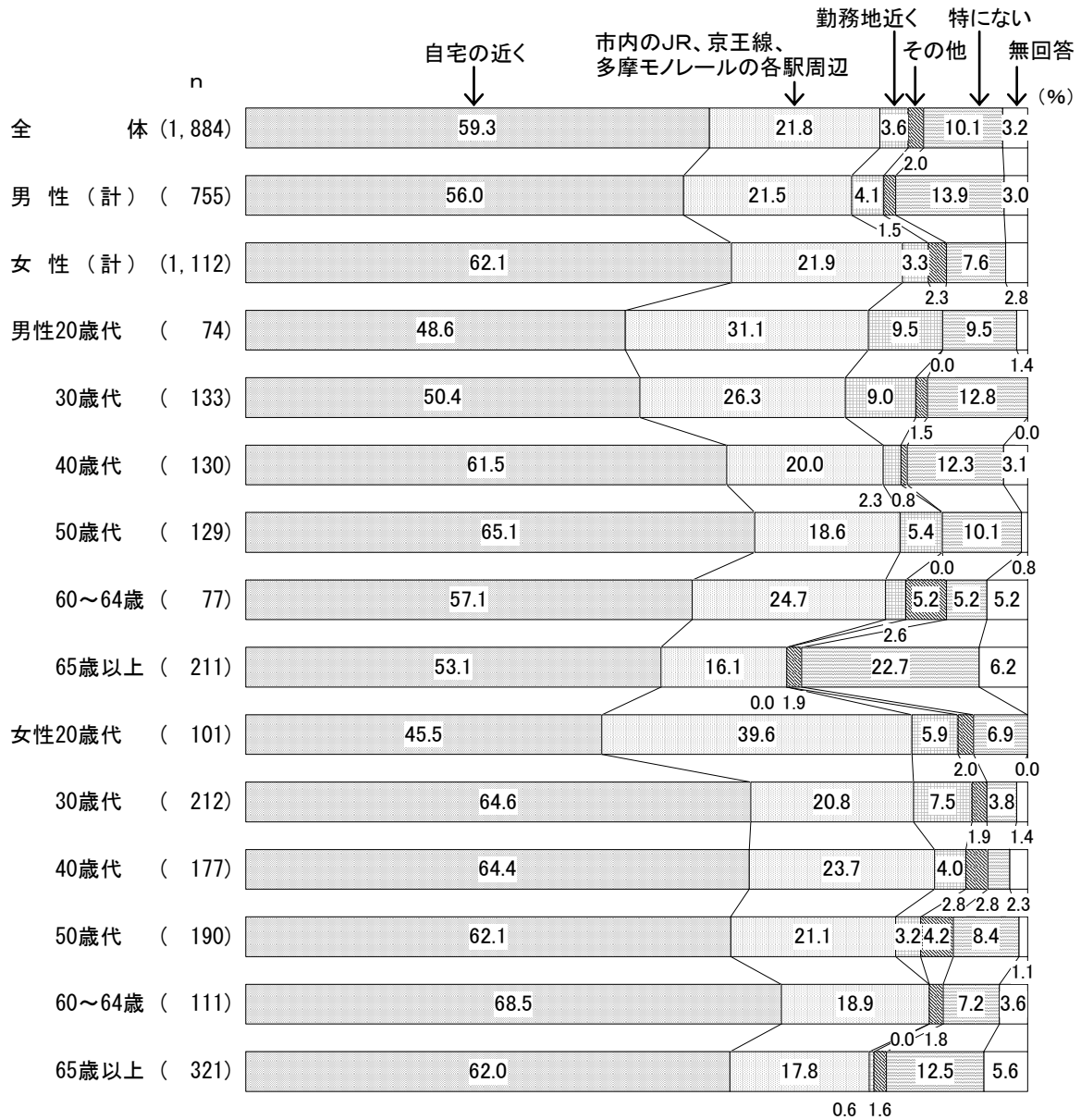
図4-8-1



生涯学習活動に参加できる場所について聞いたところ、「自宅の近く」が6割弱（59.3%）と最も高く、ついで「市内のJR、京王線、多摩モノレールの各駅周辺」（21.8%）が続いている。

(図4-8-1)

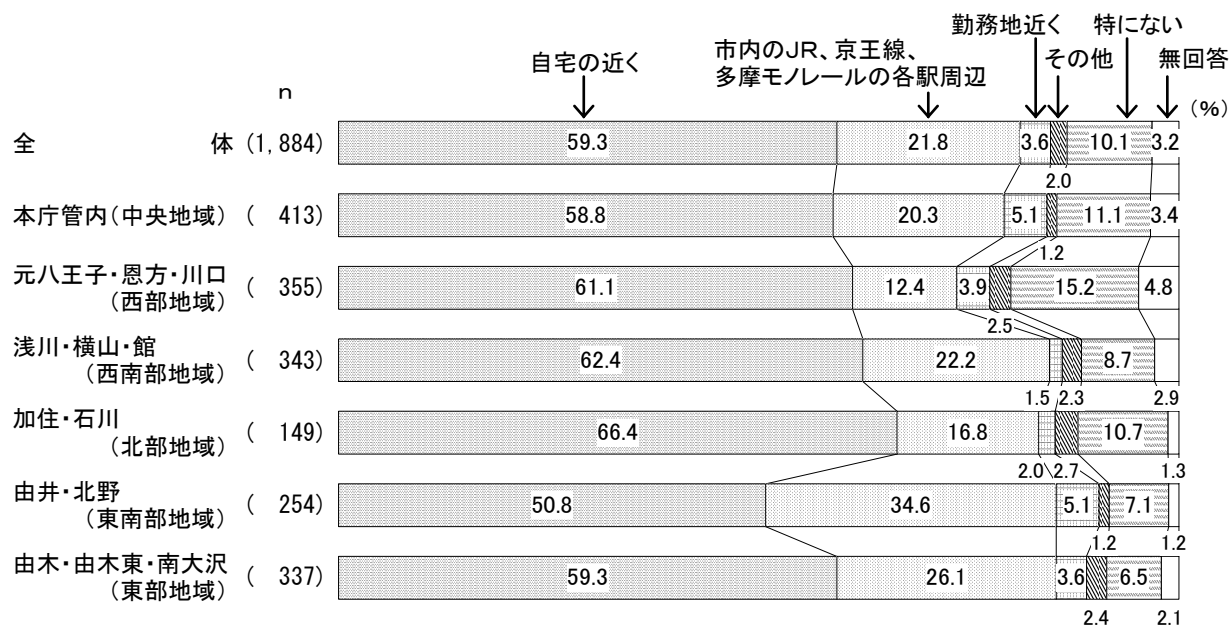
図4-8-2 生涯学習活動に参加できる場所—性別・年齢別



性別にみると、女性は「自宅の近く」が男性よりも6.1ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「自宅の近く」が男女とも30歳以上で半数を超えている。(図4-8-2)

図4-8-3 生涯学習活動に参加できる場所—居住地域別



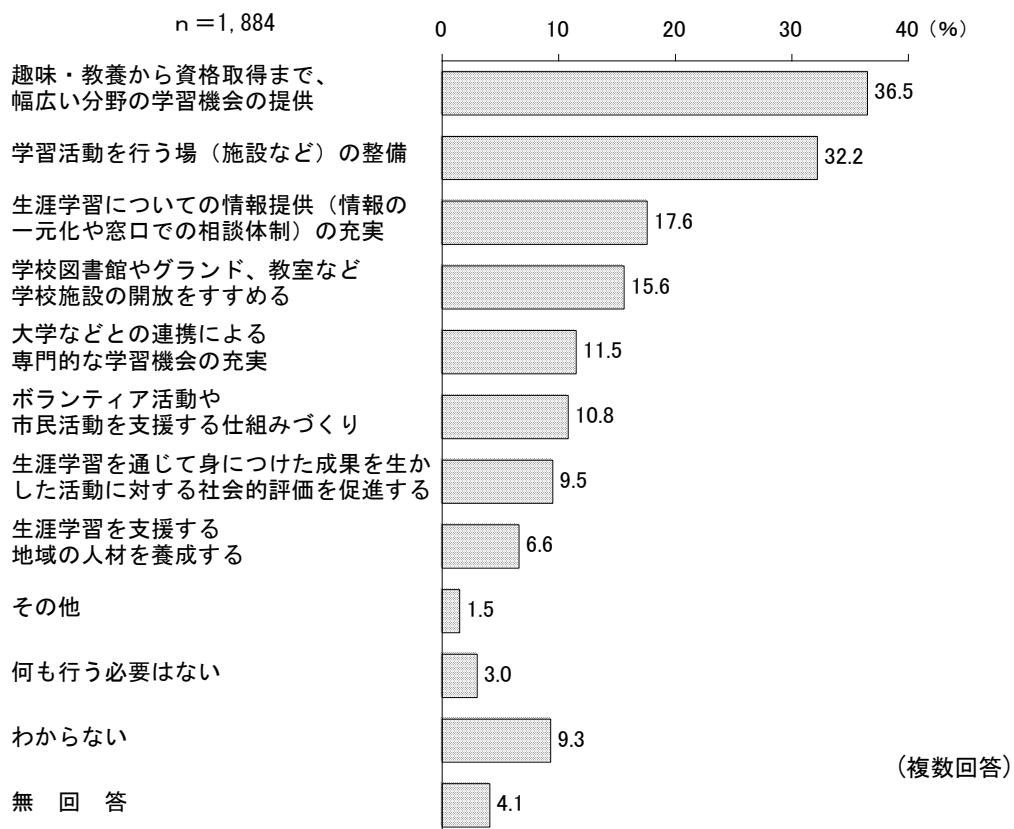
居住地域別にみると、由井・北野（東南部地域）を除いた地域で「自宅の近く」が6割前後と高くなっている。由井・北野（東南部地域）では、「市内のJR、京王線、多摩モノレールの各駅周辺」が3割台半ば（34.6%）と他の地域と比較して高くなっている。（図4-8-3）

4-9 生涯学習活動の推進のための取組

◇「趣味・教養から資格取得まで、幅広い分野の学習機会の提供」「学習活動を行う場（施設など）の整備」の2項目が3割以上

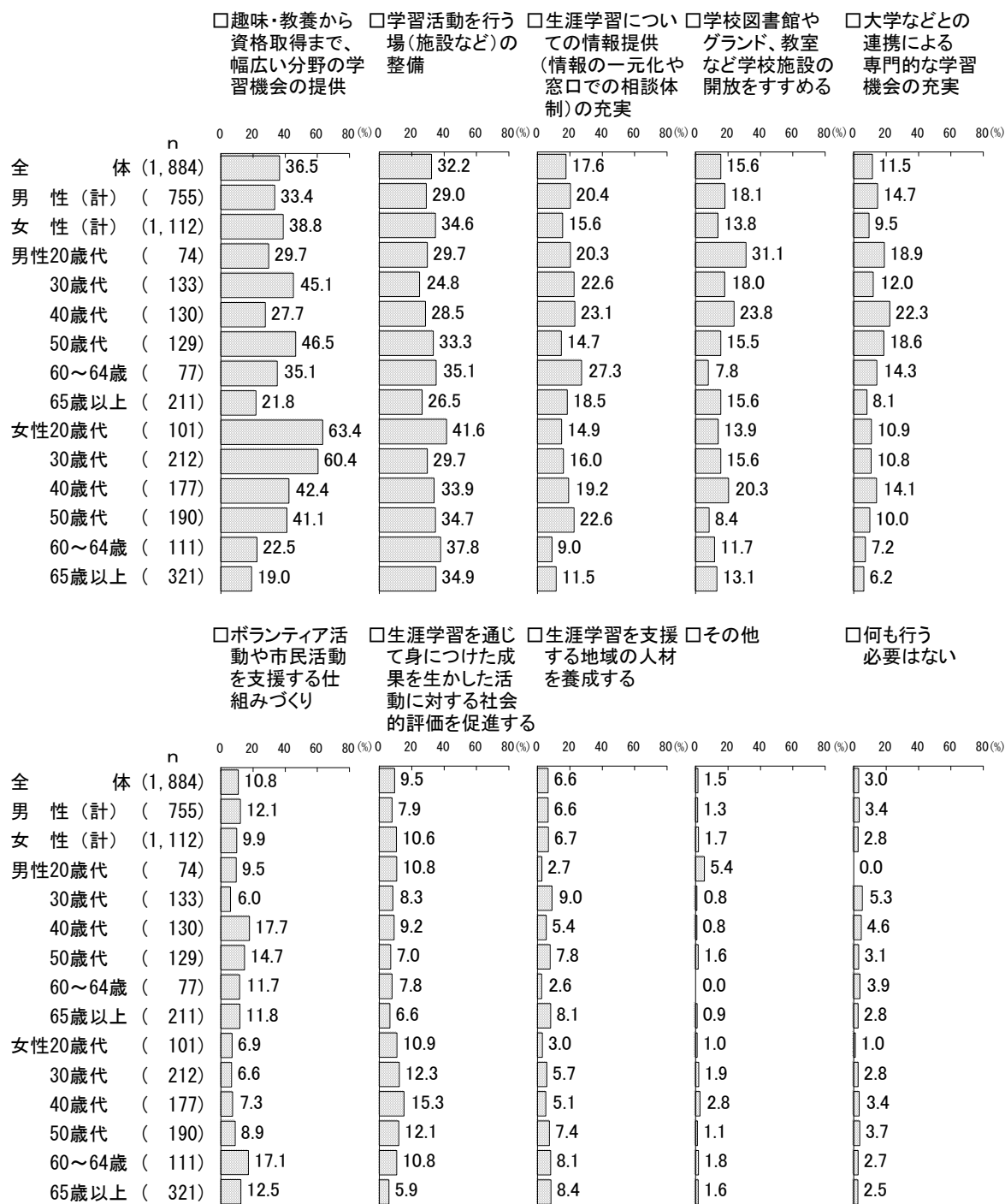
問8 今後、市が市民の生涯学習活動を支援していくにあたり、どのような施策を推進すべきだと思いますか。（○は2つまで）

図4-9-1



生涯学習活動の推進のための取組について聞いたところ、「趣味・教養から資格取得まで、幅広い分野の学習機会の提供」(36.5%)、「学習活動を行う場（施設など）の整備」(32.2%)の2項目で3割以上と高くなっている。ついで、「生涯学習についての情報提供（情報の一元化や窓口での相談体制）の充実」(17.6%)、「学校図書館やグラウンド、教室など学校施設の開放をすすめる」(15.6%)と続いている。(図4-9-1)

図4-9-2 生涯学習活動の推進のための取組—性別・年齢別

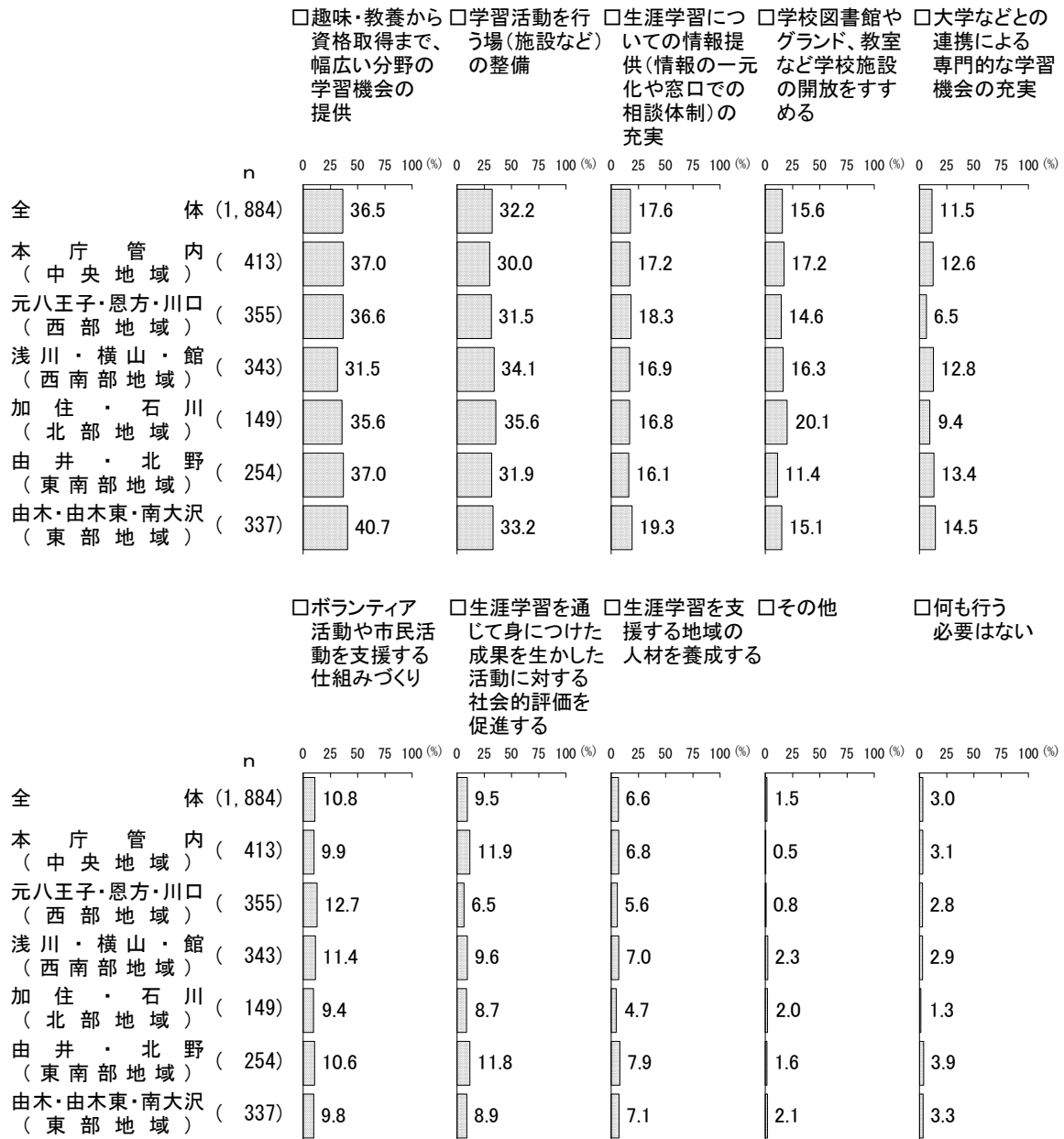


性別にみると、女性は「学習活動を行う場(施設など)の整備」が男性よりも5.6ポイント高く、男性は「大学などとの連携による専門的な学習機会の充実」が女性よりも5.2ポイント高い。

性別・年齢別にみると「趣味・教養から資格取得まで、幅広い分野の学習機会の提供」は、女性の年齢が低くなるほど割合が高くなり、特に女性の20歳代・30歳代は6割以上と高くなっている。

(図4-9-2)

図4-9-3 生涯学習活動の推進のための取組—居住地域別



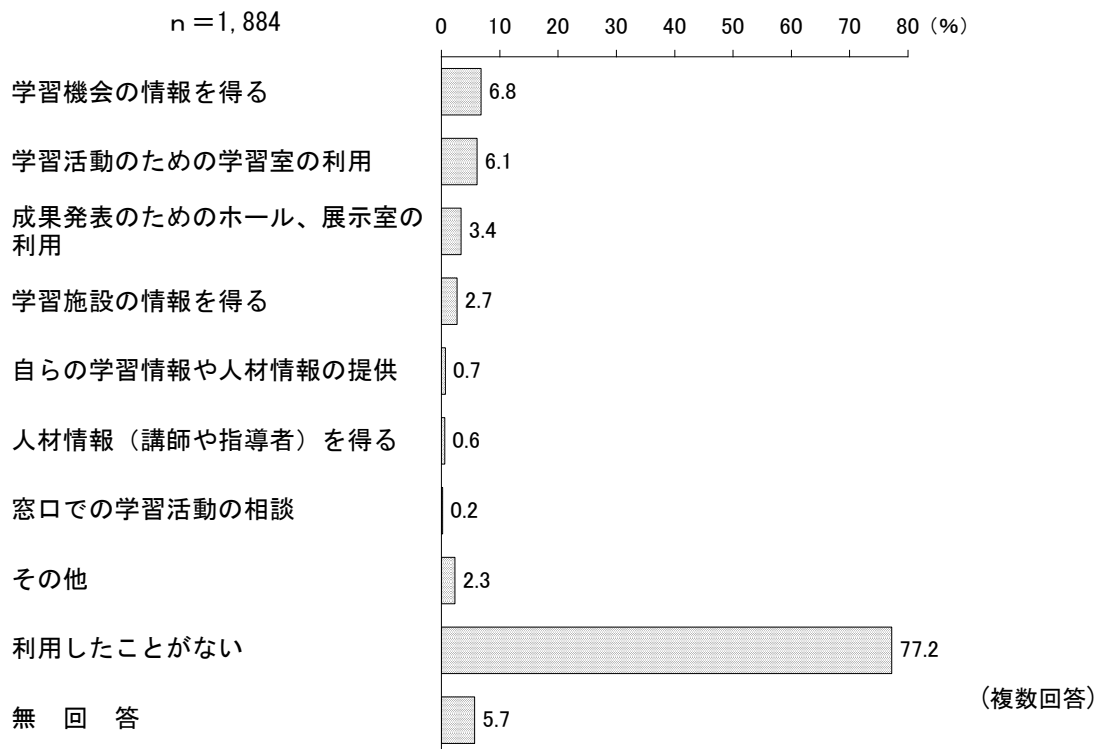
居住地域別にみると、「趣味・教養から資格取得まで、幅広い分野の学習機会の提供」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で約4割（40.7%）と最も高く、浅川・横山・館（西南部地域）で3割強（31.5%）と最も低い割合となっている。（図4-9-3）

4-10 生涯学習センターの利用目的

◇「利用したことがない」が8割弱

問9 市は市民の生涯学習活動の拠点として、生涯学習センター（クリエイトホール）、同センター川口分館、南大沢分館を開設しています。あなたは過去1年の間に生涯学習センターをどのように利用しましたか。（○はいくつでも）。

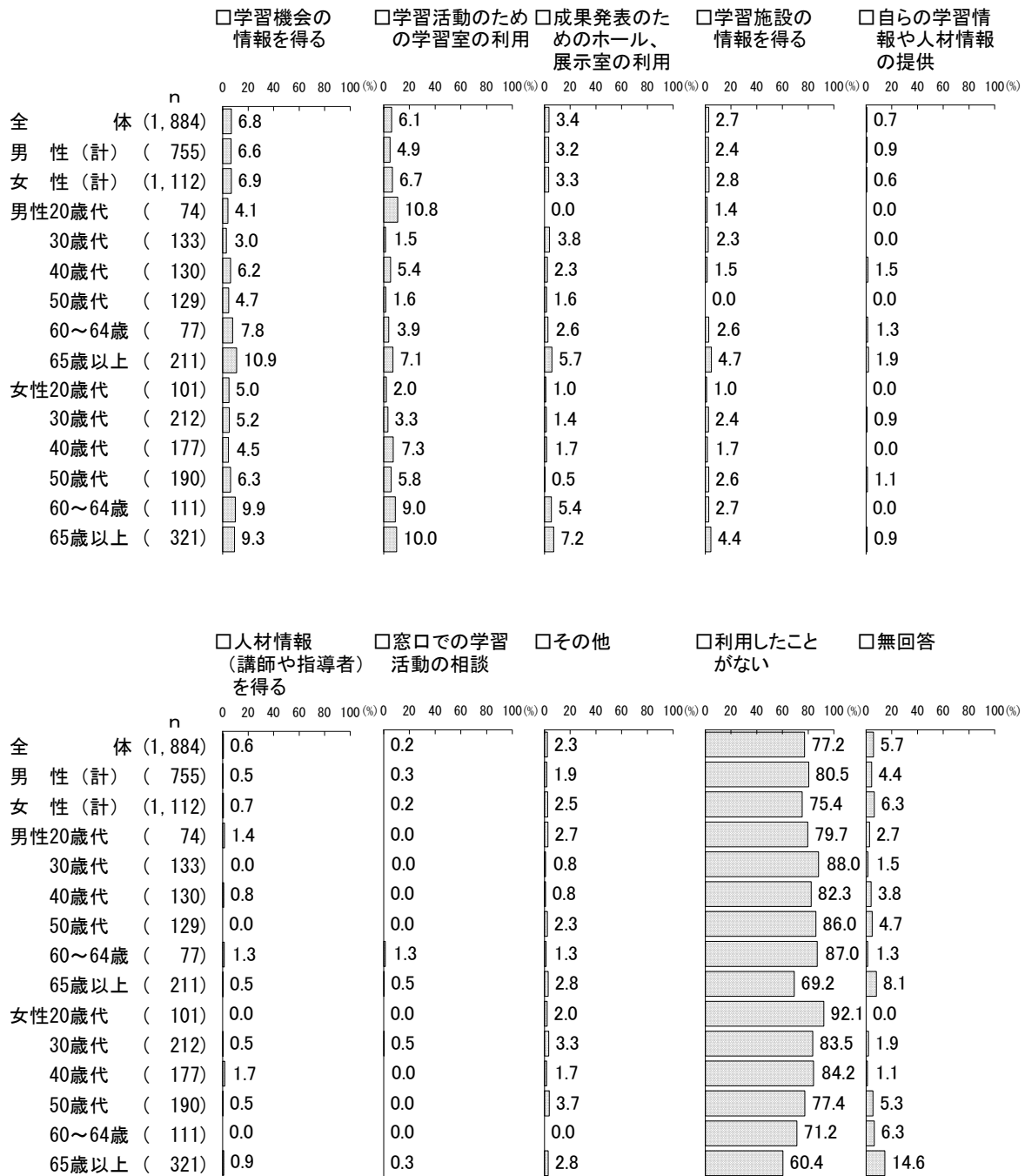
図4-10-1



生涯学習センターの利用目的について聞いたところ、利用したことがある人のうち「学習機会の情報を得る」(6.8%)、「学習活動のための学習室の利用」(6.1%)が高くなっているが、いずれも1割に満たない。一方「利用したことがない」は8割弱(77.2%)と突出して高くなっている。

(図4-10-1)

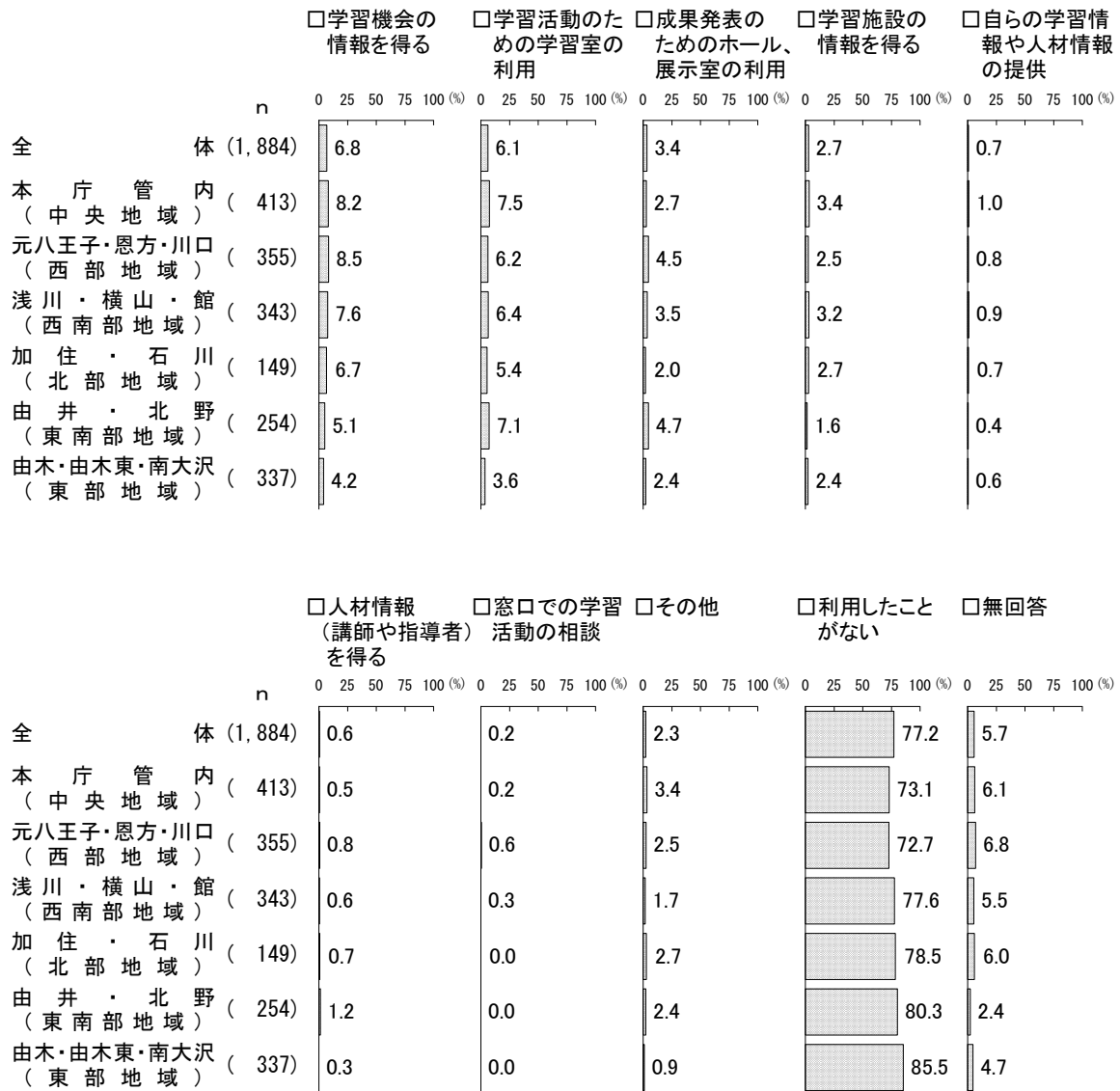
図4-10-2 生涯学習センターの利用目的—性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「利用したことがない」で5.1ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、男女ともすべての年齢層で「利用したことがない」の割合が最も高くなっているが、男女とも65歳以上では6割台と比較的低くなっている。(図4-10-2)

図4-10-3 生涯学習センターの利用目的—居住地域別



居住地域別にみると、どの地域でも「利用したことがない」が最も高い割合となっており、なかでも由木・由木東・南大沢（東部地域）と由井・北野（東南部地域）は8割以上と他の地域に比べ、高くなっている。（図4-10-3）

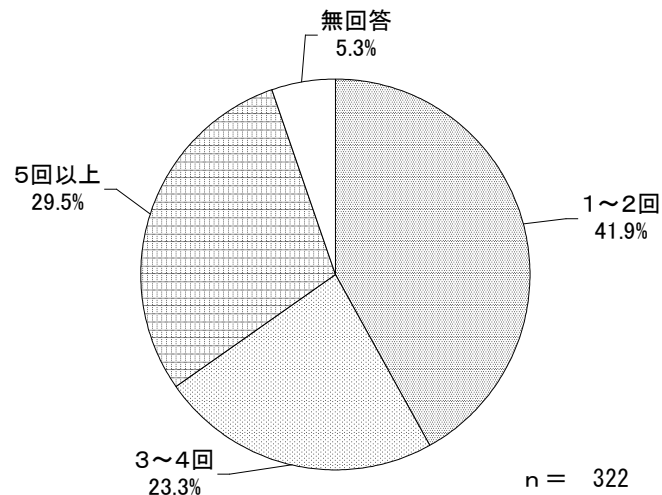
4-11 生涯学習センターの利用頻度

◇「1～2回」が4割強

(問9で「1」～「8」のいずれかにお答えの方に)

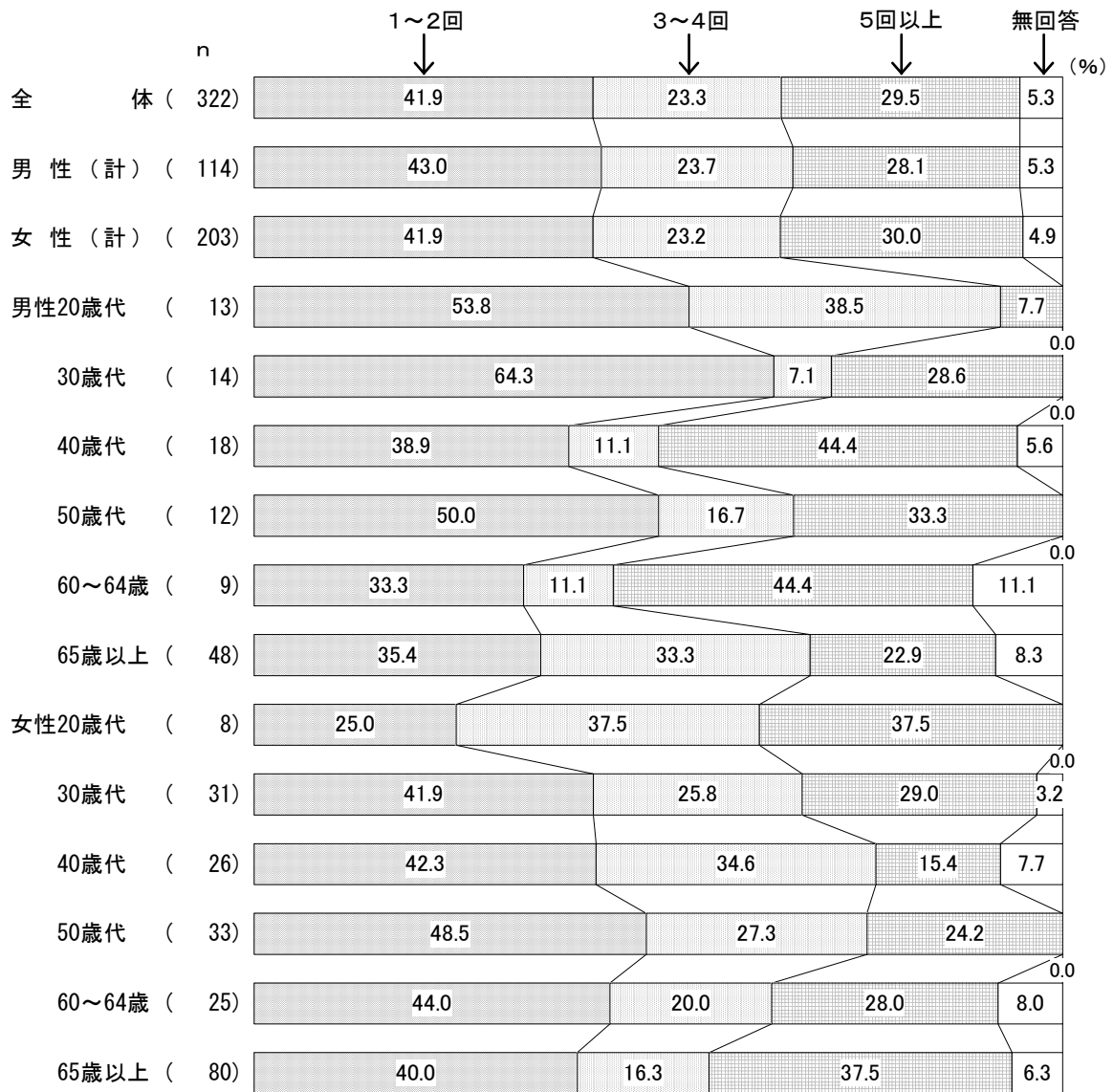
問9-1 過去1年間で何回位利用しましたか。(○は1つだけ)

図4-11-1



この1年間に生涯学習センターを利用した人(322人)に、生涯学習センターの利用頻度について聞いたところ、「1～2回」が4割強(41.9%)と最も高く、ついで「5回以上」(29.5%)、「3～4回」(23.3%)の順となっている。(図4-11-1)

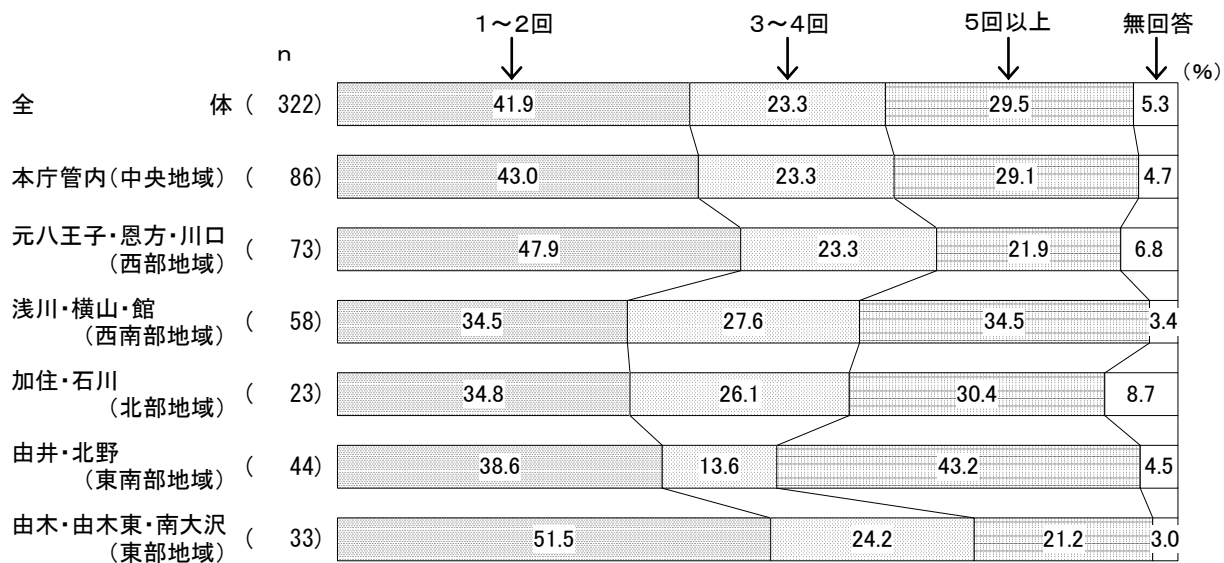
図4-11-2 生涯学習センターの利用頻度－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「1～2回」は男性の30歳代で6割台半ば（64.3%）と最も高くなっている。
（図4-11-2）

図4-11-3 生涯学習センターの利用頻度－居住地域別



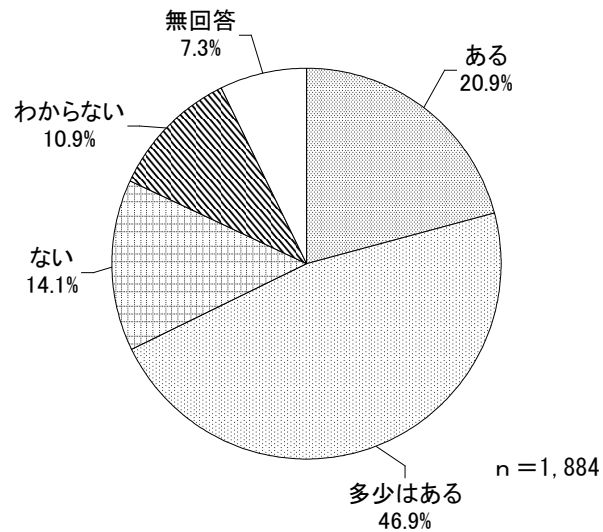
居住地域別にみると、由木・由木東・南大沢（東部地域）では「1～2回」が5割強（51.5%）と最も高く、由井・北野（東南部地域）は「5回以上」で4割強（43.2%）と他の地域に比べて高くなっている。（図4-11-3）

4-12 生涯学習に対する関心度

◇『ある』が7割弱

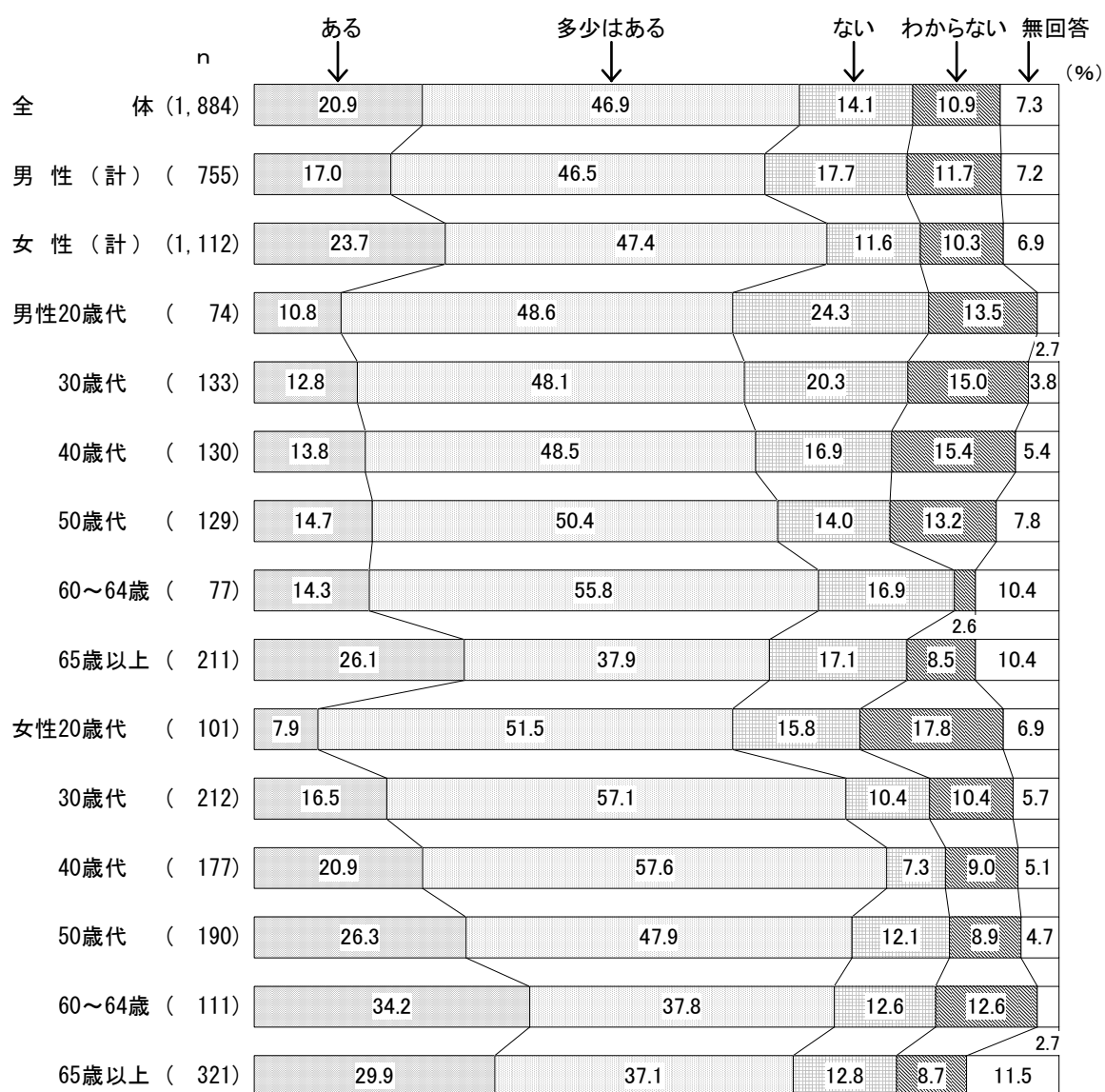
問10 あなたは、生涯学習に関する講座や教室に関心がありますか。(○は1つだけ)

図4-12-1



生涯学習に対する関心度について聞いたところ、「多少はある」が4割台半ば（46.9%）と最も高くなっており、「ある」（20.9%）と合わせた『ある』は7割弱（67.8%）を占めている。一方、「ない」は1割台半ば（14.1%）にとどまっている。（図4-12-1）

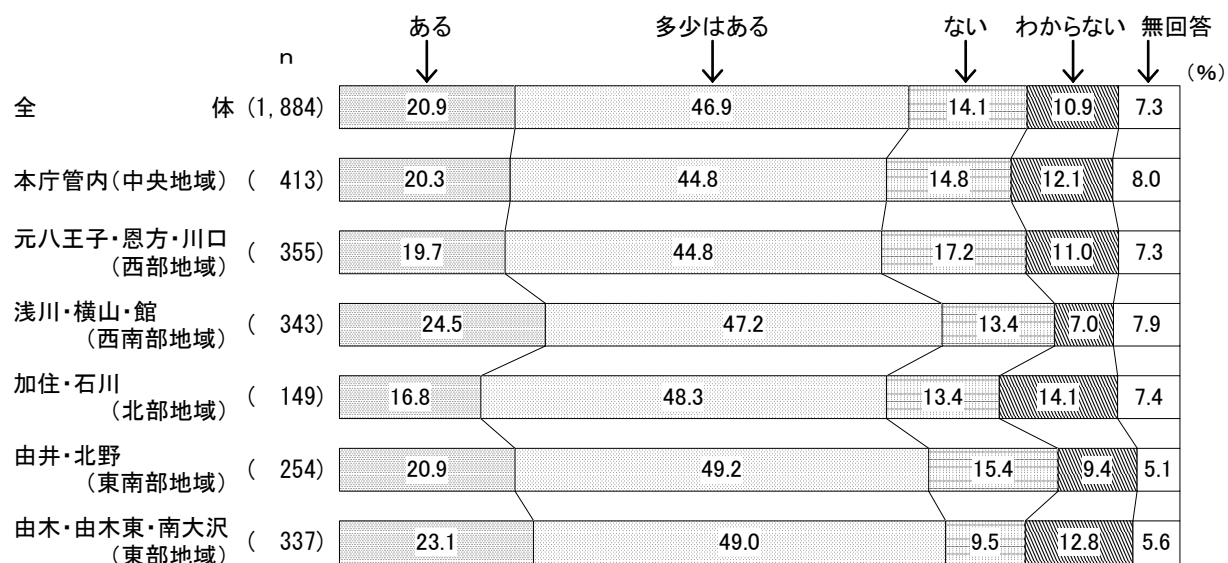
図4-12-2 生涯学習に対する関心度—性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが『ある』で男性よりも7.6ポイント高くなっている。

性別・年齢別にみると、「ある」は女性の65歳以上を除き、概ね年齢が高くなるほど割合が高くなっている。特に女性の60~64歳で3割台半ば（34.2%）と最も高い割合となっている。（図4-12-2）

図4-12-3 生涯学習に対する関心度—居住地域別



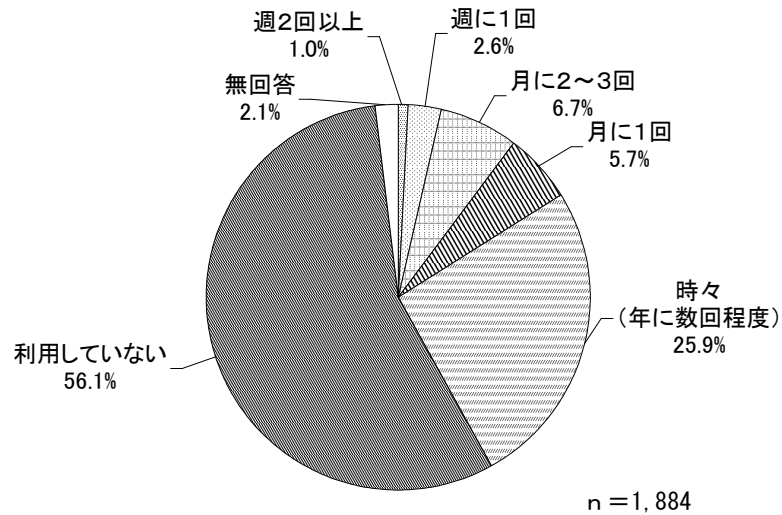
居住地域別にみると、浅川・横山・館（西南部地域）で「ある」が2割台半ば（24.5%）と他の地域に比べ高くなっている。（図4-12-3）

4-13 図書館の利用頻度

◇「利用していない」が5割台半ば

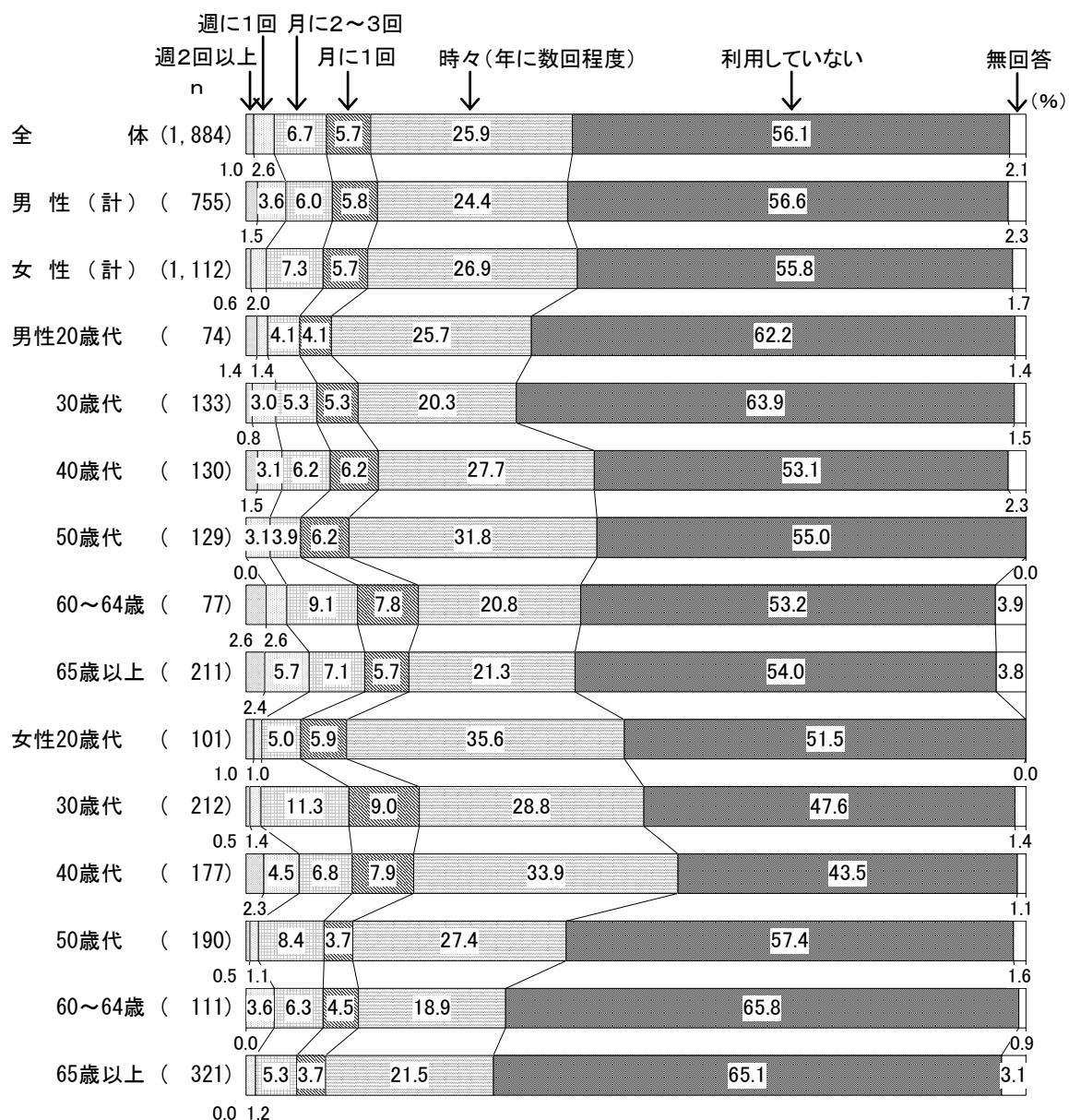
問11 あなたは、図書館をどの程度利用していますか。(○は1つだけ)

図4-13-1



図書館の利用頻度について聞いたところ、利用しているなかでは「時々 (年に数回程度)」が2割台半ば (25.9%) と突出して高くなっている。一方「利用していない」は5割台半ば (56.1%) と半数を超えている。(図4-13-1)

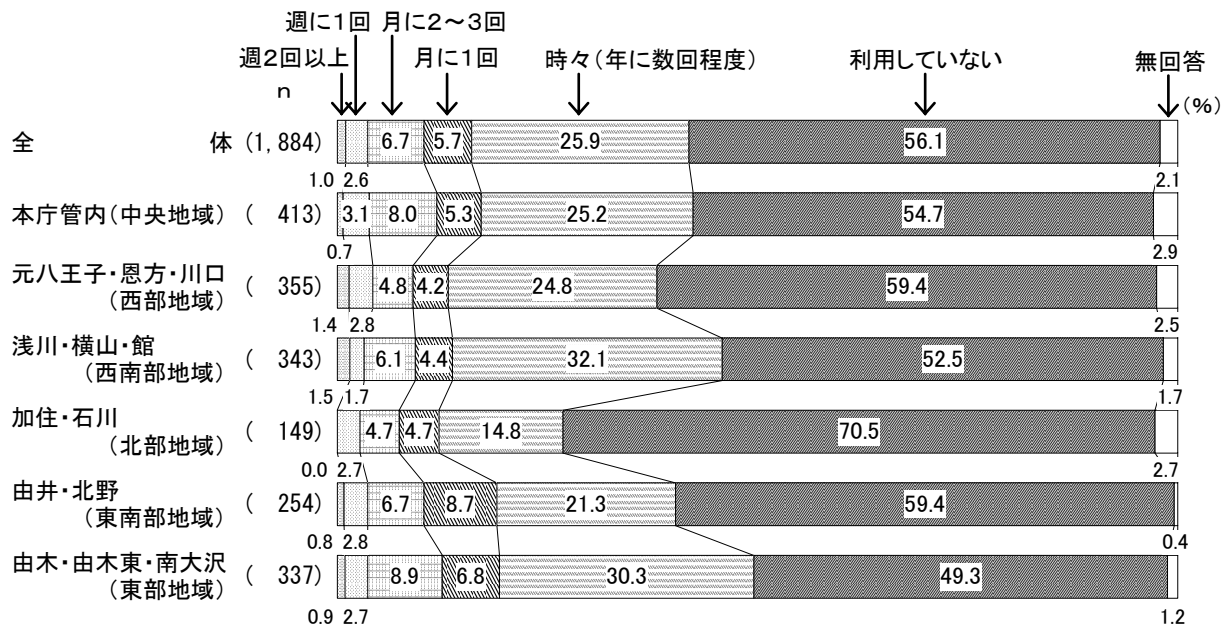
図 4-13-2 図書館の利用頻度—性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、女性の30歳代・40歳代で「利用していない」が4割台と比較的低くなっている。(図4-13-2)

図 4-13-3 図書館の利用頻度—居住地域別

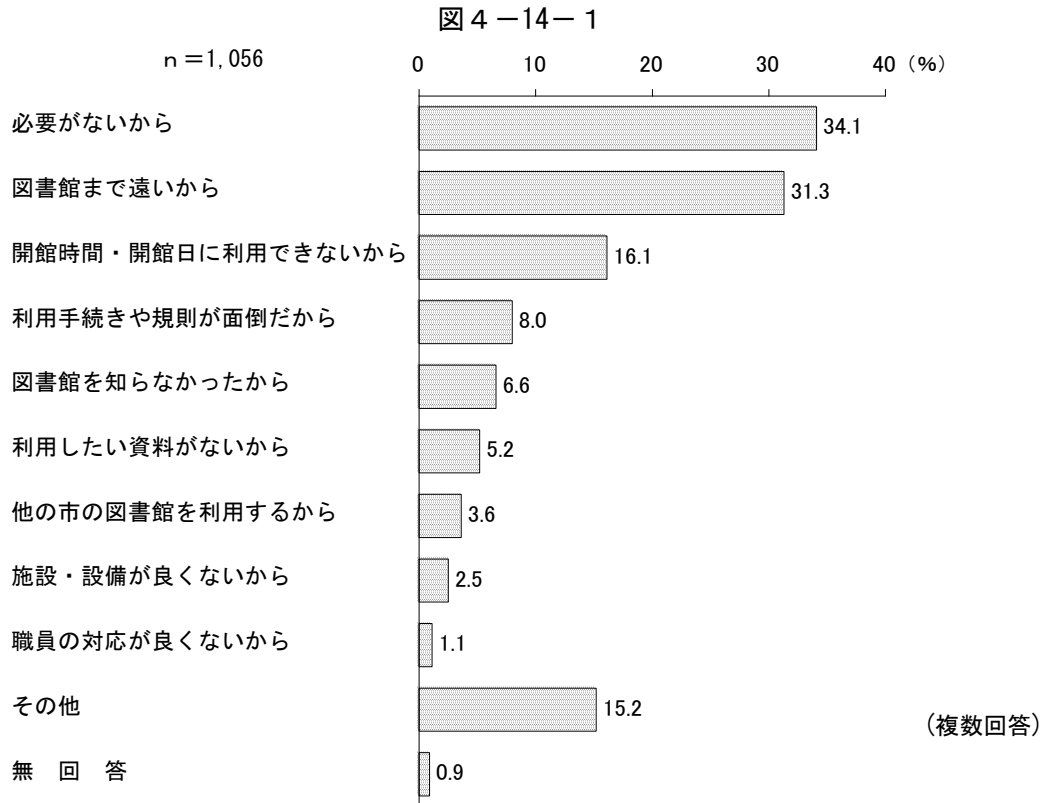


居住地域別にみると、「利用していない」が加住・石川（北部地域）で約7割（70.5%）と他の地域と比較して高くなっている。（図 4-13-3）

4-14 図書館を利用していない理由

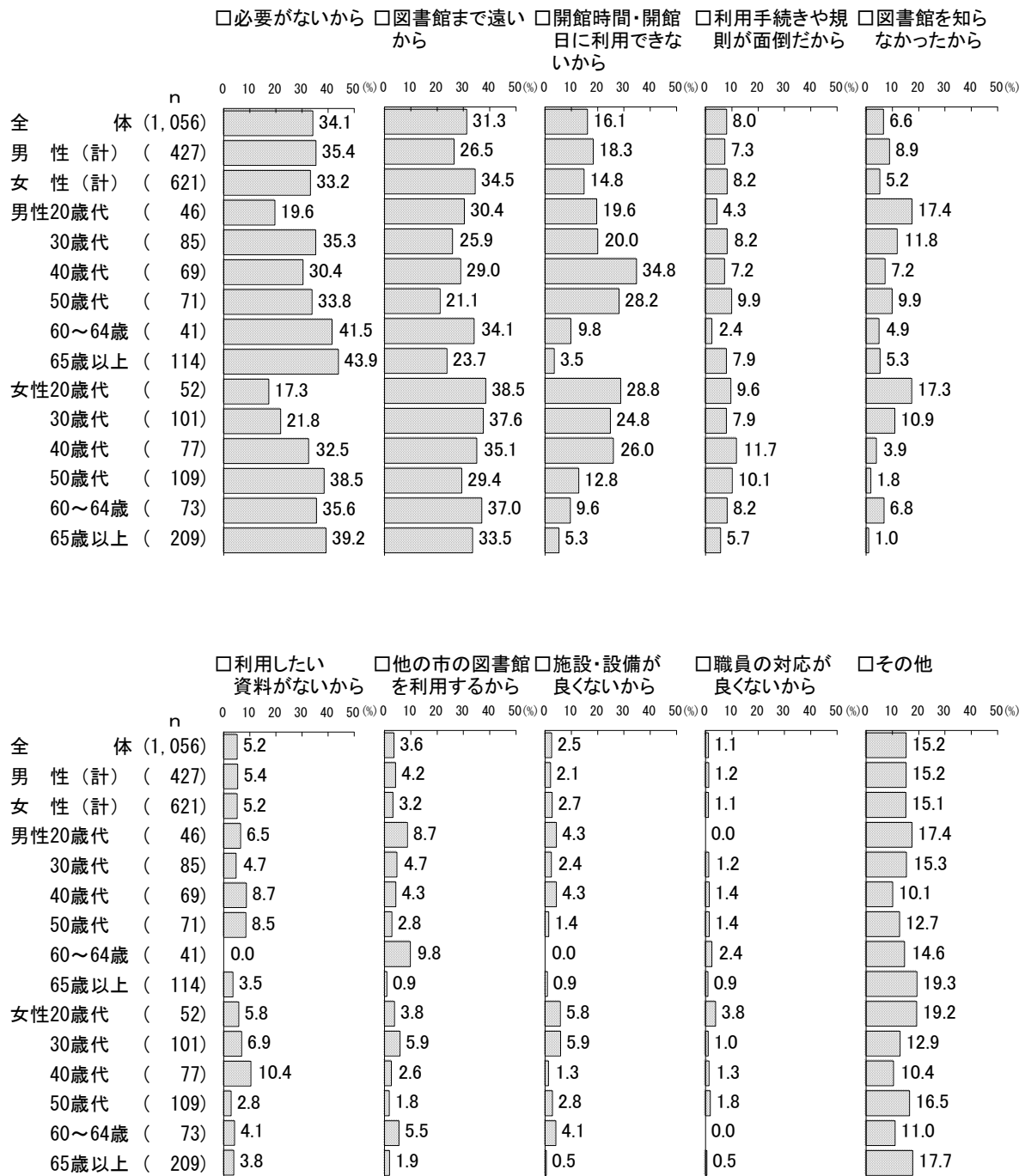
◇「必要がないから」と「図書館まで遠いから」の2項目が3割以上

(問11で「利用していない」とお答えの方に)とお答えの方に)
問11-1 図書館を利用しない理由は何ですか。(○は3つまで)



図書館の利用頻度で「利用していない」と答えた人(1,056人)に、図書館を利用していない理由について聞いたところ、「必要がないから」(34.1%)と「図書館まで遠いから」(31.3%)の2項目が3割以上で高くなっている。ついで「開館時間・開館日に利用できないから」(16.1%)、「利用手続きや規則が面倒だから」(8.0%)の順で続いている。(図4-14-1)

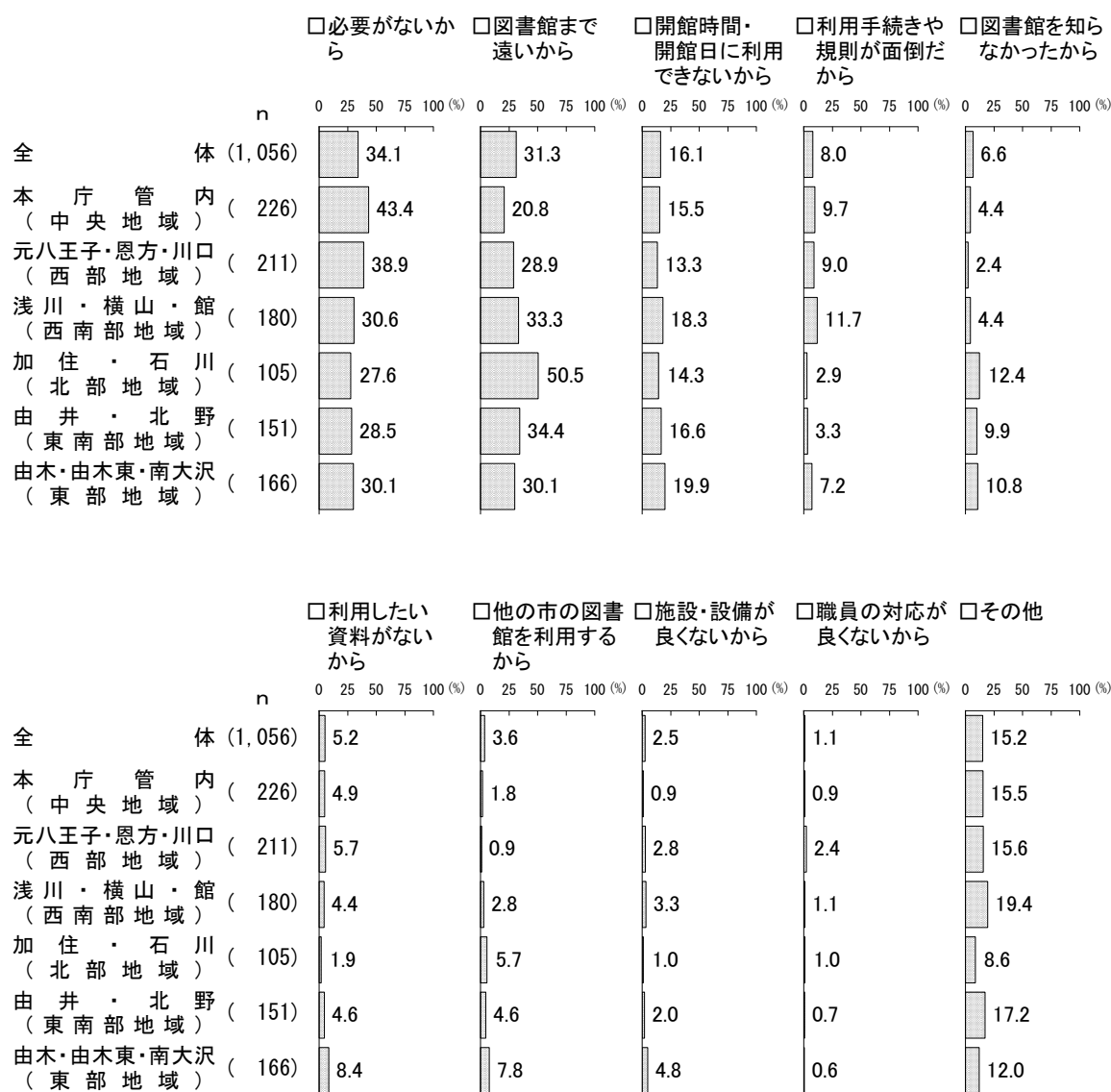
図4-14-2 図書館を利用していない理由—性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「図書館を知らなかったから」で3.7ポイント、「開館時間・開館日に利用できないから」で3.5ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「必要がないから」は男性の60歳以上では4割強を占め、比較的高い割合となっている。「開館時間・開館日に利用できないから」では、男性の40歳代で3割台半ば（34.8%）と最も高く、「図書館を知らなかったから」は男女とも20歳代で1割台半ばと、他の年齢層と比較して高い割合となっている。（図4-14-2）

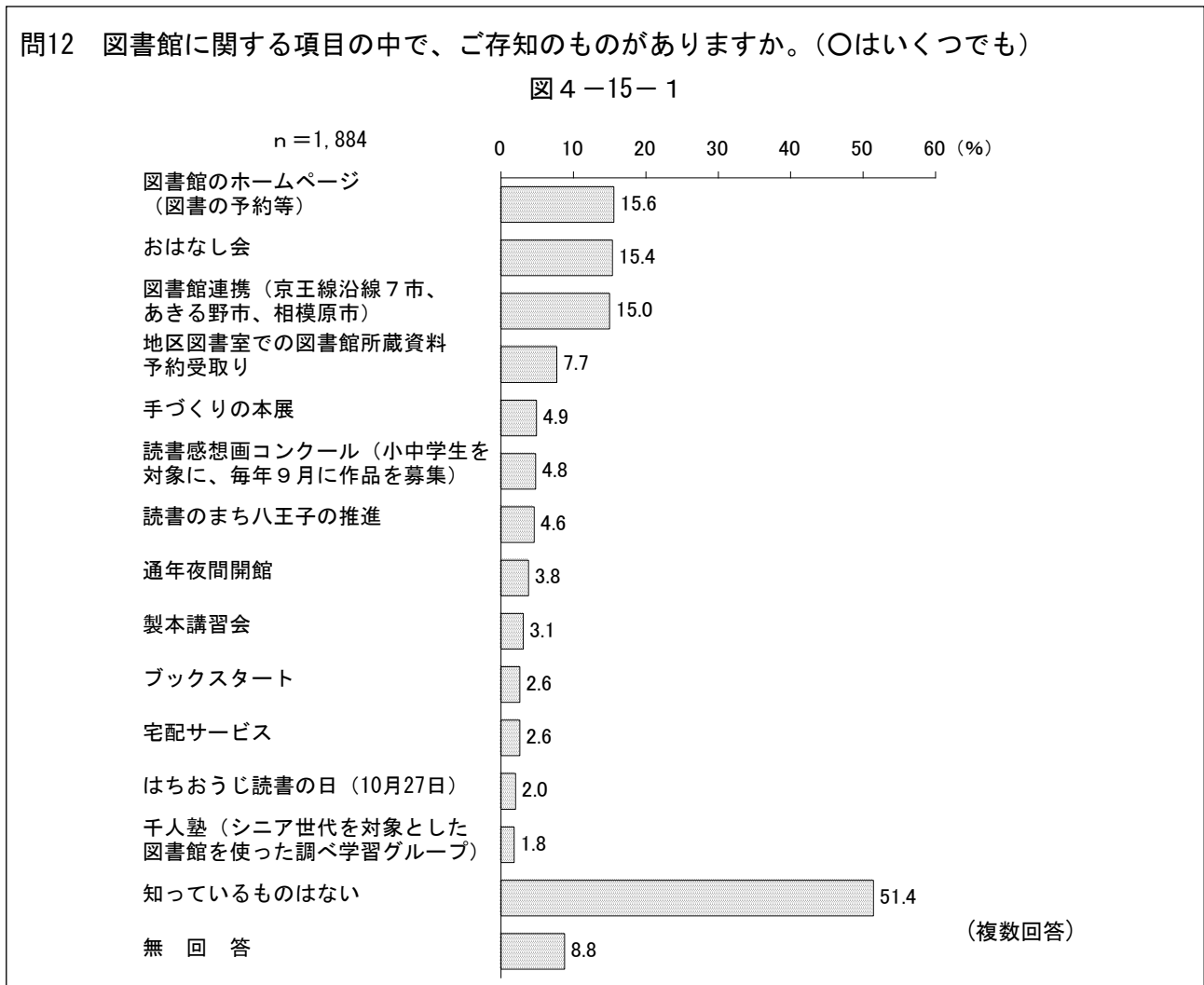
図4-14-3 図書館を利用していない理由—居住地域別



居住地域別にみると、「図書館まで遠いから」では加住・石川（北部地域）が約5割（50.5%）と最も高く、本庁管内（中央地域）が約2割（20.8%）と最も低くなっている。（図4-14-3）

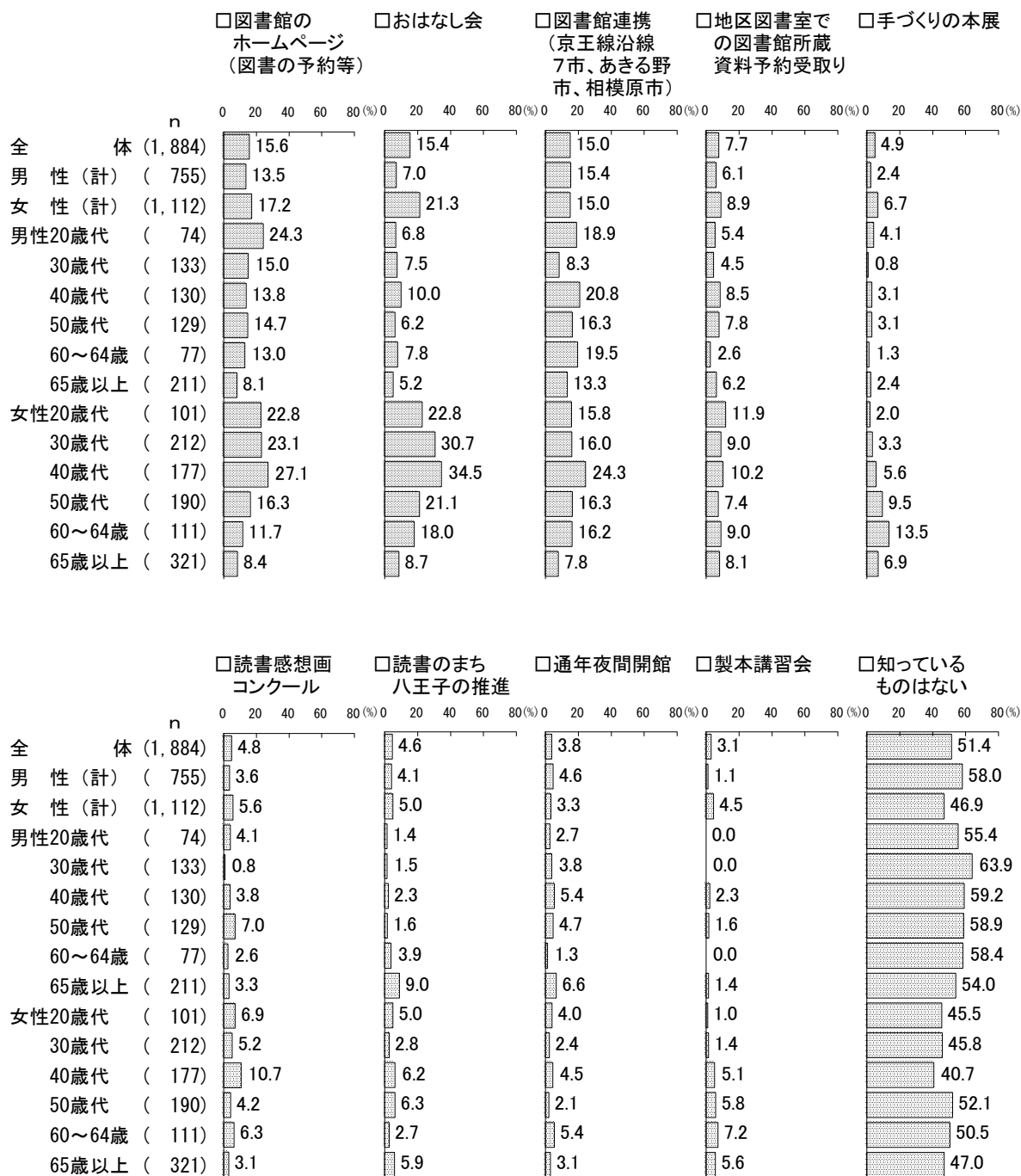
4-15 図書館の活動・サービスの認知度

◇「図書館のホームページ（図書の予約等）」「おはなし会」「図書館連携（京王線沿線7市、あきる野市、相模原市）」が1割台半ば



図書館の活動・サービスの認知度について聞いたところ、「図書館のホームページ（図書の予約等）」（15.6%）と「おはなし会」（15.4%）、「図書館連携（京王線沿線7市、あきる野市、相模原市）」（15.0%）がいずれも1割台半ばとなり、上位3項目となっている。一方「知っているものはない」は5割強（51.4%）と半数を超えている。（図4-15-1）

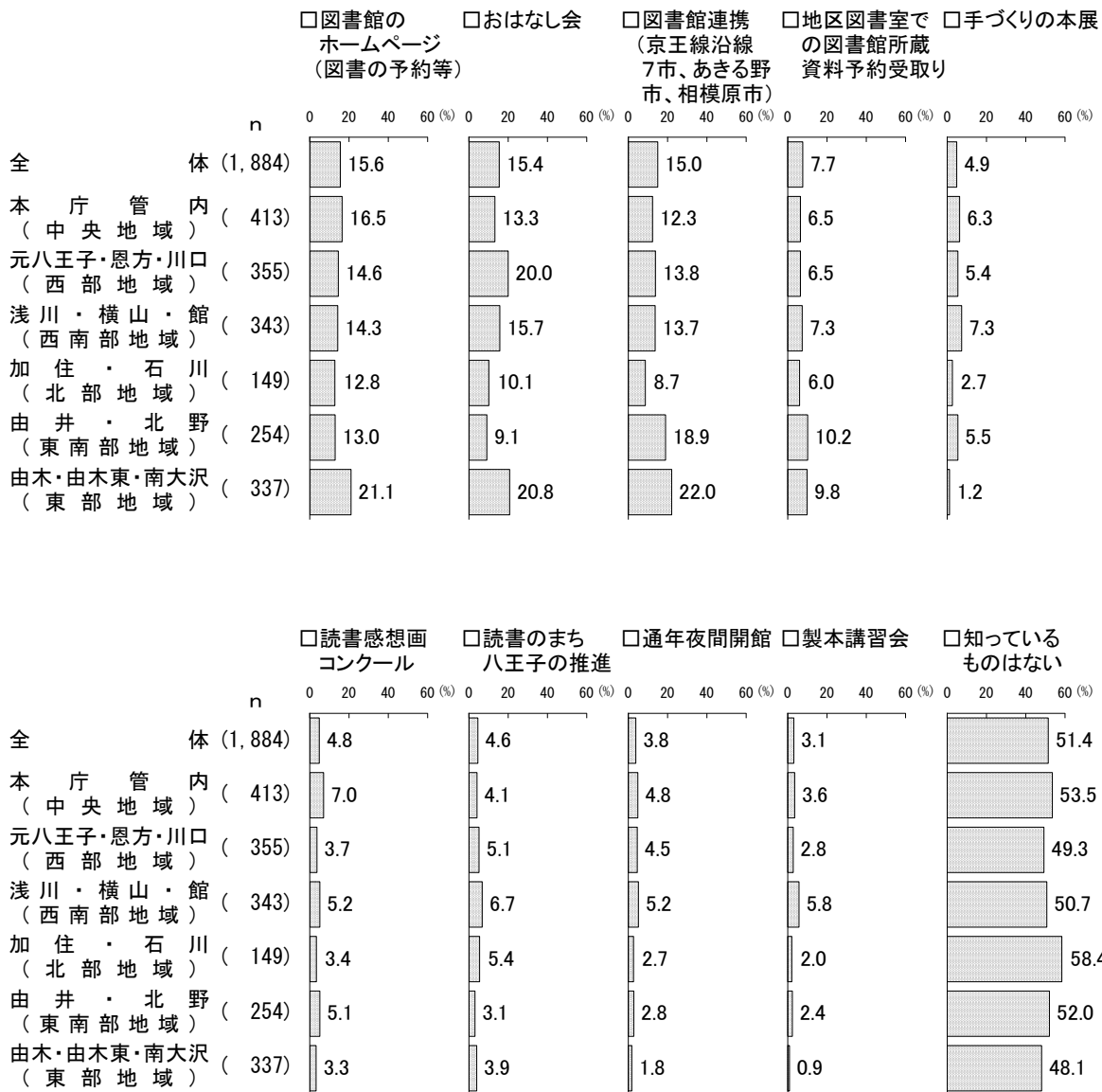
図4-15-2 図書館の活動・サービスの認知度—性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「知っているものはない」で11.1ポイント、女性のほうが「おはなし会」で14.3ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「図書館のホームページ (図書の予約等)」では、男性の20歳代と女性の20歳~40歳代で2割以上と高くなっている。「おはなし会」は、女性の30歳代・40歳代で3割以上と他の年齢層と比較して高くなっている。(図4-15-2)

図4-15-3 図書館の活動・サービスの認知度—居住地域別



居住地域別にみると、「おはなし会」は由木・由木東・南大沢（東部地域）と元八王子・恩方・川口（西部地域）で約2割と認知度が比較的高くなっている。また、「図書館連携（京王線沿線7市、あきる野市、相模原市）」では、由木・由木東・南大沢（東部地域）が2割強（22.0%）と他の地域に比べ高い割合となっている。（図4-15-3）